

BEL ボディー電装

〔故障診断〕

目次

リヤデフォッガータイマ故障診断	BELd- 4
準備品	BELd- 4
一般計測機器	BELd- 4
システム概要	BELd- 4
構成部品取付位置	BELd- 4
回路図	BELd- 4
スマートエントランスコントロールユニット入出力信号基準値	BELd- 5
診断前点検	BELd- 5
ヒューズ、ヒューズブルリンクの点検	BELd- 5
現象別の故障診断	BELd- 6
現象1 リヤデフォッガータイマが作動しない	BELd- 6
構成部品点検	BELd- 8
キー抜き忘れ警報・ライト消し忘れ警報故障診断	BELd- 9
準備品	BELd- 9
一般計測機器	BELd- 9
システム概要	BELd- 9
構成部品取付位置	BELd- 9
回路図	BELd- 9
スマートエントランスコントロールユニット入出力信号基準値	BELd-10
診断前点検	BELd-10
ヒューズ、ヒューズブルリンクの点検	BELd-10
電源及びアース経路点検	BELd-11
現象別の故障診断	BELd-11
現象1 キースイッチがOFF位置、ライトスイッチが ON（一段）で運転席ドアを開けてもブザーが鳴らない	BELd-11
現象2 キースイッチがON位置、ライトスイッチが ON（一段）で運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	BELd-12
現象3 キースイッチがOFF位置、運転席ドア閉で、 ライトスイッチをON（一段）にするとブザーが鳴る	BELd-12

目 次

現象4 キーがキースイッチに差し込まれている時 (ON位置以外)、 運転席ドアを開けてもブザーが鳴らない	BELD-13
構成部品点検	BELD-13
キースイッチ照明故障診断	BELD-14
準備品	BELD-14
一般計測機器	BELD-14
システム概要	BELD-14
構成部品取付位置	BELD-14
回路図	BELD-14
スマートエントランスコントロールユニット入出力信号基準値	BELD-15
診断前点検	BELD-15
ヒューズ、ヒューズプルリンクの点検	BELD-15
現象別の故障診断	BELD-16
現象1 キースイッチ照明が点灯しない	BELD-16
メーター故障診断	BELD-17
準備品	BELD-17
特殊工具	BELD-17
一般計測機器	BELD-17
システム概要	BELD-17
構成部品取付位置	BELD-17
計器関係回路図	BELD-18
診断前点検	BELD-18
ヒューズ点検	BELD-18
現象別の故障診断	BELD-19
現象1 燃料計又は水温計のゲージが作動しない、又は指示誤差が大きい	BELD-19
現象2 スピードメーターが常に0km/hを表示する	BELD-20
現象3 スピードメーターの指示誤差が大きい、又は指示値が振らつく	BELD-20
現象4 オドメーター及びトリップメーターが作動しない	BELD-21
現象5 油圧計が作動しない、又は指示誤差が大きい	BELD-21
現象6 タコメーターが作動しない	BELD-22
現象7 ブースト計が作動しない、又は指示誤差が大きい	BELD-22
構成部品点検	BELD-23
オーディオ故障診断	BELD-26
準備品	BELD-26
一般計測機器	BELD-26
システム概要	BELD-26
概要	BELD-26
エラー表示	BELD-26
回路図	BELD-27

目 次

現象別の故障診断	BELD-27
現象1 CD再生中にCDオートチェンジャーの操作ができなくなる	BELD-27
現象2 CDオートチェンジャー操作時に表示部が変化しない	BELD-30
現象3 音声がでない（電子チューナーラジオの表示部に 「CD Err」を表示する）	BELD-32
現象4 音声がでない（「CD Err」を表示しない）	BELD-33
現象5 マガジン取出ボタンを押してもCDマガジンが出てこない	BELD-34

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

リヤデフォッガータイマー故障診断

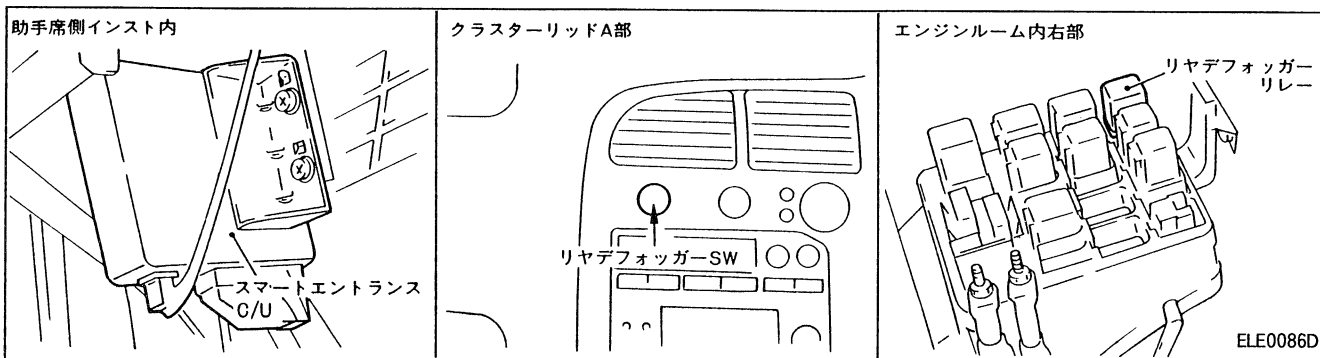
準備品

一般計測機器

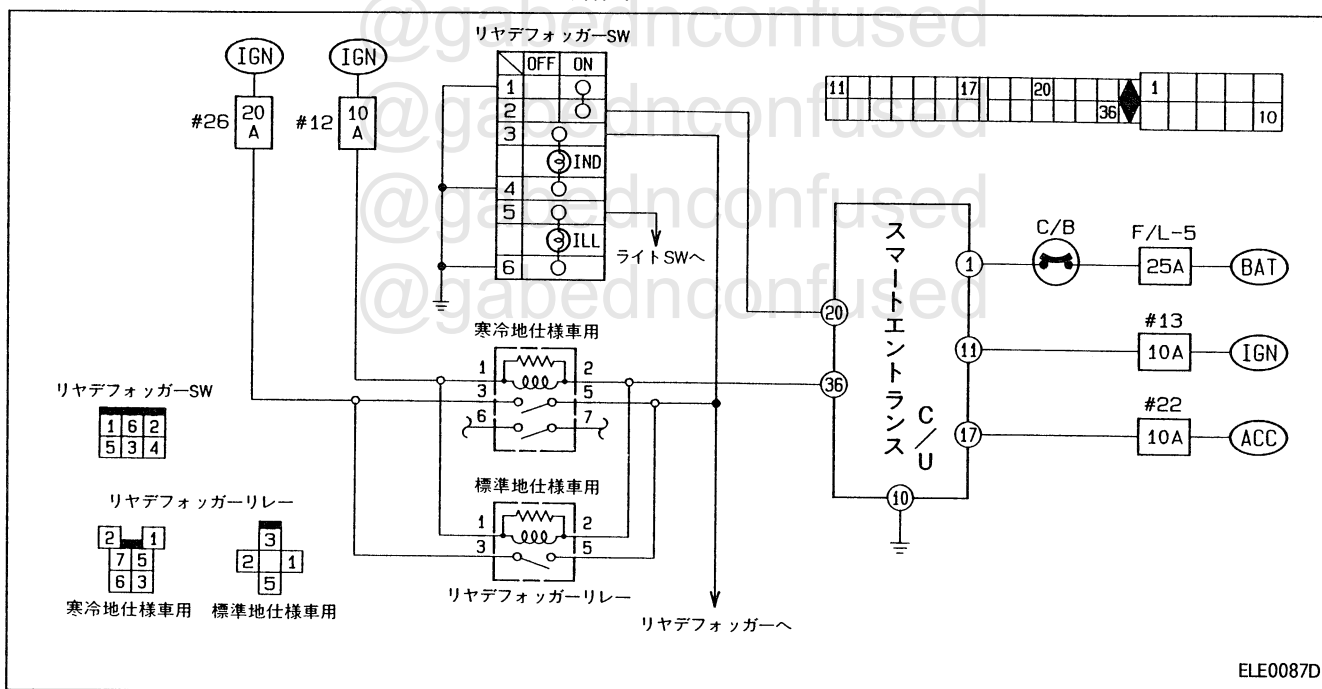
名称	用途
サーキットテスター	電圧及び導通点検

システム概要

構成部品取付位置



回路図



リヤデフォッガータイマー故障診断

スマートエントランスコントロールユニット 入出力信号基準値

サーキットテスターによる基準値

端子 番号	測定の条件		基準値	信号名称	
	キー-SW	操作			
1	OFF	—	約12V	BAT電源	
10	OFF	—	約0Ω(注)	アース	
11	ON	—	約12V	IGN電源	
17	ACC	—	約12V	ACC電源	
20	ON	リヤデフォッガー-SW	ON (SWを押した状態)	約0V	リヤデフォッガー-SW信号
			OFF	約12V	
36	ON	リヤデフォッガー-SW	ON	約0V	リヤデフォッガーリレーへの出力信号
			OFF	約12V	

注：コントロールユニットのコネクターを外し、車両側コネクター端子で測定した値

診断前点検

ヒューズ、ヒューズブルリンクの点検

ヒューズ及びヒューズブルリンクの位置は「GI編電気システムの点検」の項参照。

ヒューズブロック内（インストロア右部）

ヒューズ番号	容量	電源系統	主な負荷
#12	10A	IGN	メーター
#13	10A	IGN	パワーアンテナ
#22	10A	ACC	オーディオ
#26	20A	IGN	リヤデフォッガー

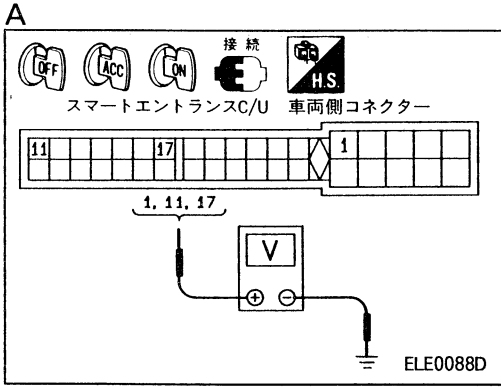
リレーボックス内（エンジンルーム内右部）

ヒューズブルリンク番号	容量	電源系統	主な負荷
F/L-5	25A	BAT	パワーウインド

リヤデフォッガータイマー故障診断

現象別の故障診断

現象1 リヤデフォッガーが作動しない



A

スマートエントリーC/U電源点検

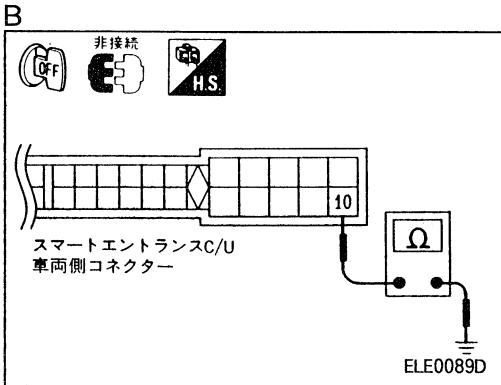
- スマートエントリーC/U車両側コネクタ-1, 11, 17番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

キー-SW、OFF
1 ～ ボディーアース :約12V

キー-SW、ON
11 ～ ボディーアース :約12V

キー-SW、ACC
17 ～ ボディーアース :約12V

NG → 電源系ハーネス不良



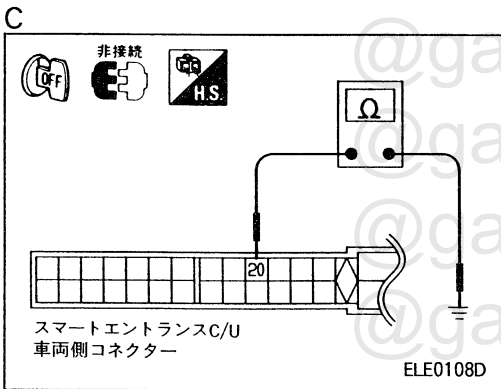
B

スマートエントリーC/Uアース点検

- キー-SWをOFFにする。
- スマートエントリーC/Uのコネクタを外す。
- スマートエントリーC/U車両側コネクタ-10番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

10 ～ ボディーアース :導通あり

NG → アース系ハーネス不良



リヤデフォッガー-SW点検
(「構成部品点検」の項参照)

NG → リヤデフォッガー-SW不良

C

リヤデフォッガー-SW経路点検

- リヤデフォッガー-SWを操作したとき、スマートエントリーC/U車両側コネクタ-20番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

20 ～ボディーアース
リヤデフォッガー-SW OFF :導通なし

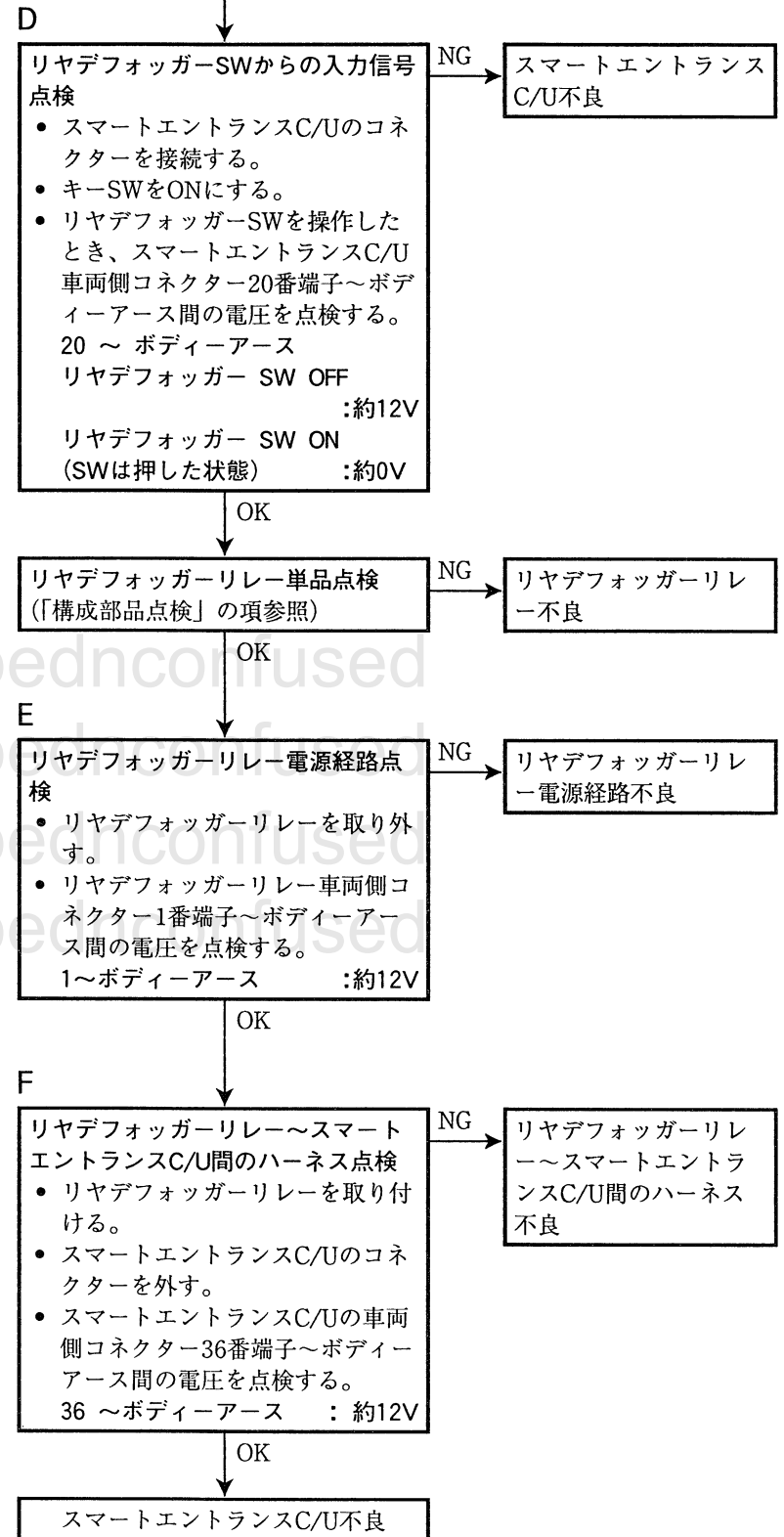
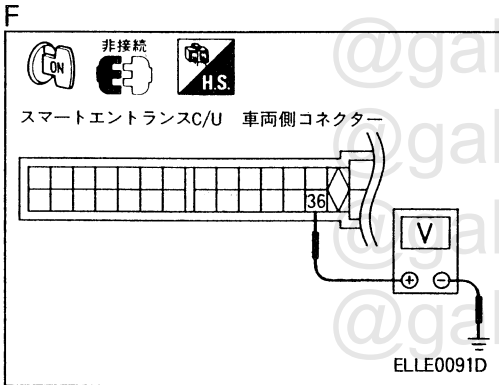
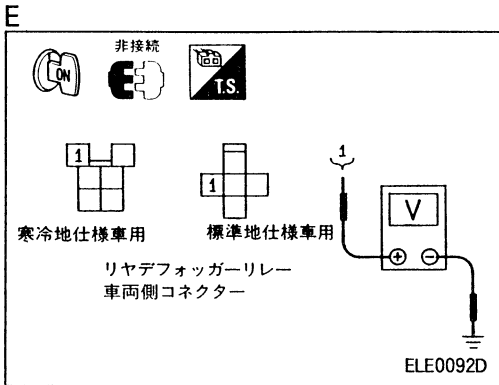
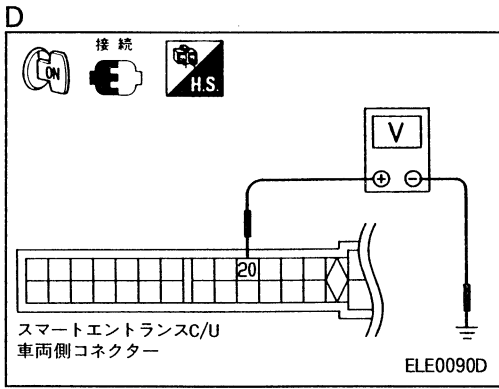
リヤデフォッガー-SW ON :導通あり

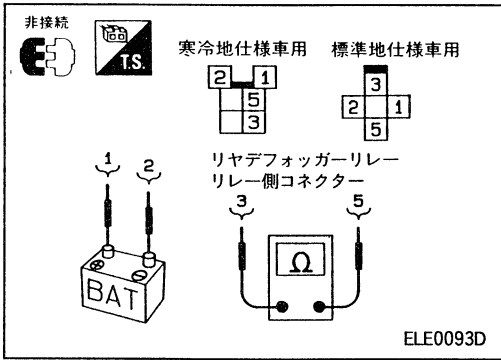
NG → リヤデフォッガー-SW系統ハーネス不良

OK → 次ページへ

リヤデフォッガータイマー故障診断

現象1 リヤデフォッガーが作動しない (続き)



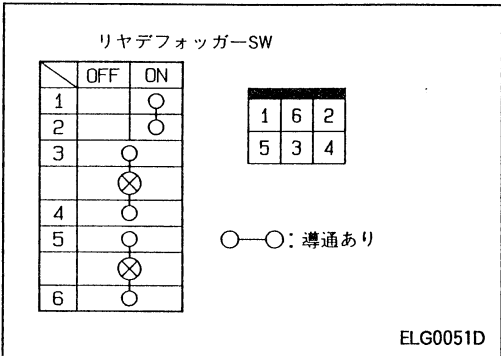


構成部品点検

リヤデフォッガーリレー

リヤデフォッガーリレーを外し、各端子間の導通を点検する。

1～2番端子間に約12Vの電圧	3～5番端子間の導通
加えたとき	有り
加えないとき	無し



リヤデフォッガースイッチ点検

- サーキットテスターを使用し、リヤデフォッガースイッチ各作動時における端子間の導通を点検する。

@gabednconfused
 @gabednconfused
 @gabednconfused
 @gabednconfused

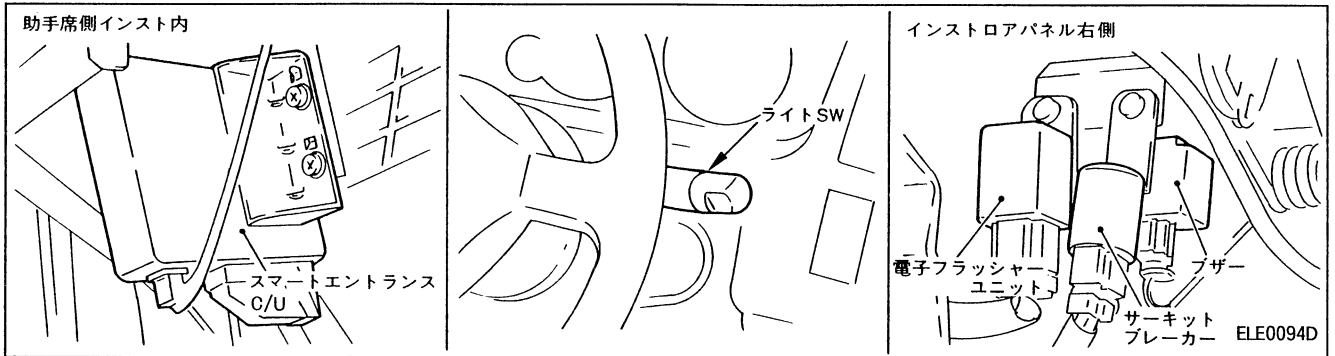
準備品

一般計測機器

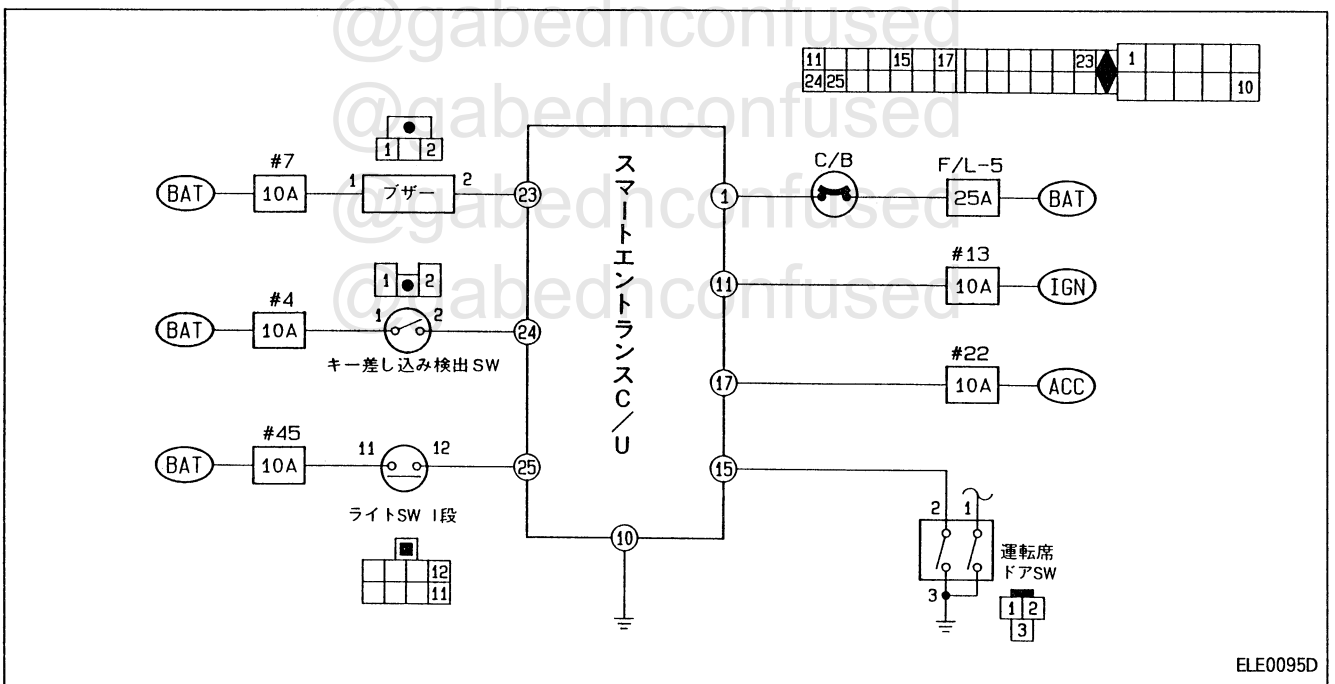
名称	用途
サーキットテスター	電圧及び導通点検

システム概要

構成部品取付位置



回路図



ELE0095D

キー抜き忘れ警報・ライト消し忘れ警報故障診断

スマートエントランスコントロールユニット 入出力信号基準値

サーキットテスターによる基準値

端子 番号	測定の条件		基準値	信号名称	
	キー-SW	操作			
1	OFF	—	約12V	BAT電源	
10	OFF	—	約0Ω (注)	アース	
11	ON	—	約12V	IGN電源	
15	OFF	運転席ドアSW	ON(開)	約0V	運転席ドアSW信号
			OFF(閉)	約12V	
17	ACC	—	約12V	ACC電源	
23	OFF	運転席ドア開 ライトSW OFF	キーを差し込む	約0V	ライト消し忘れ及びキー抜き忘れ警報ブザー信号
			キーを抜く	約12V	
24	OFF	キーを抜く	約0V	キー-SW(差し込み検出)信号	
		キーを差し込む	約12V		
25	OFF	ライトSW一段	ON	約12V	ライトSW信号
			OFF	約0V	

注：コントロールユニットのコネクターを外し、車両側コネクター端子で測定した値

診断前点検

ヒューズ、ヒューズブルリンクの点検

ヒューズ及びヒューズブルリンクの位置は「GI編電気系統の点検」の項参照。

ヒューズブロック内（インストロア右部）

ヒューズ番号	容量	電源系統	主な負荷
#4	10A	BAT	ルームランプ
#7	10A	BAT	時計
#13	10A	IGN	パワーアンテナ
#22	10A	ACC	オーディオ

リレーボックス内（エンジンルーム内右部）

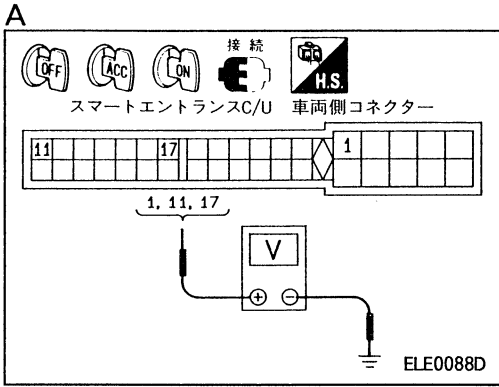
ヒューズブルリンク番号	容量	電源系統	主な負荷
F/L-5	25A	BAT	パワーウインド

ヒューズブロック内（トランクルーム内バッテリー横）

ヒューズ番号	容量	電源系統	主な負荷
#45	10A	BAT	テールランプ

診断前点検 (続き)

電源及びアース経路点検



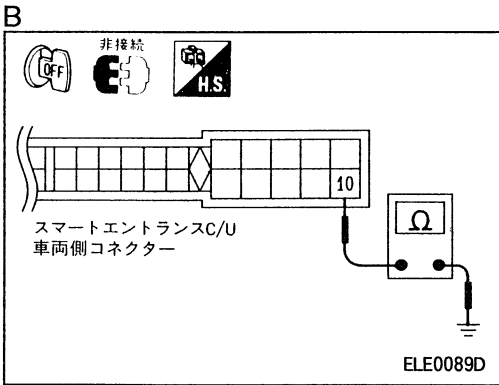
A

スマートエントリーC/U電源点検

- スマートエントリーC/U車両側コネクタ1, 11, 17番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

キー-SW、OFF
1 ～ ボディーアース :約12V
キー-SW、ON
11 ～ ボディーアース :約12V
キー-SW、ACC
17 ～ ボディーアース :約12V

NG → 電源系ハーネス不良



B

スマートエントリーC/Uのアース点検

- スマートエントリーC/Uのコネクタを外す。
- スマートエントリーC/Uの車両側コネクタ10番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

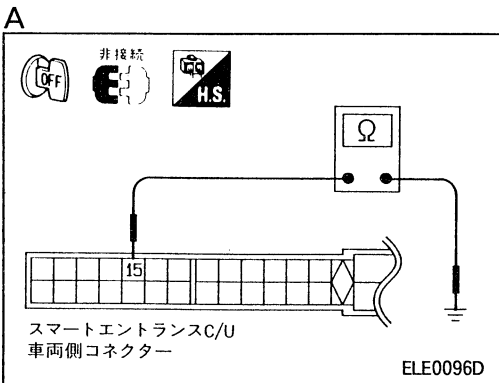
10 ～ ボディーアース :導通あり

NG → アース系ハーネス不良

OK → 正常

現象別の故障診断

現象1 キースイッチがOFF位置、ライトスイッチがON（一段）で運転席ドアを開けてもブザーが鳴らない



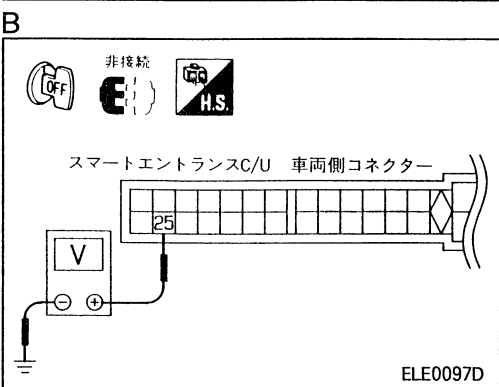
A

ドアSWからの入力信号点検

- キー-SWをOFFにする。
- スマートエントリーC/Uのコネクタを外す。
- 運転席のドアを開閉したときのスマートエントリーC/U車両側コネクタ15番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

15 ～ ボディーアース
ドアSW ON(開) :導通あり
ドアSW OFF(閉) :導通なし

NG → 運転席ドアSW又は、運転席ドアSW～スマートエントリーC/U間ハーネス不良



B

ライトSWからの入力信号点検

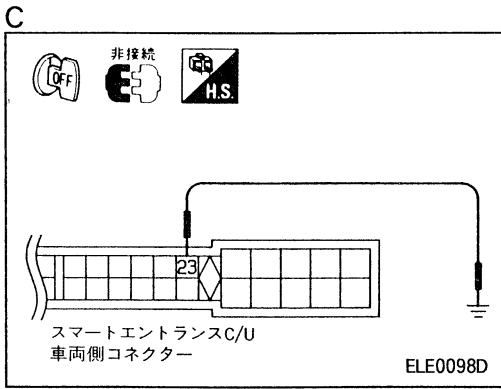
- 運転席ドアを閉める。
- ライトSWを一段(スモールランプ点灯)状態にする。
- スマートエントリーC/U車両側コネクタ25番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

25 ～ ボディーアース :約12V

NG → ライトSW～スマートエントリーユニット間ハーネス不良

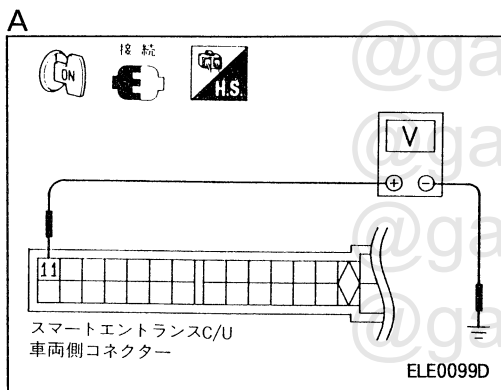
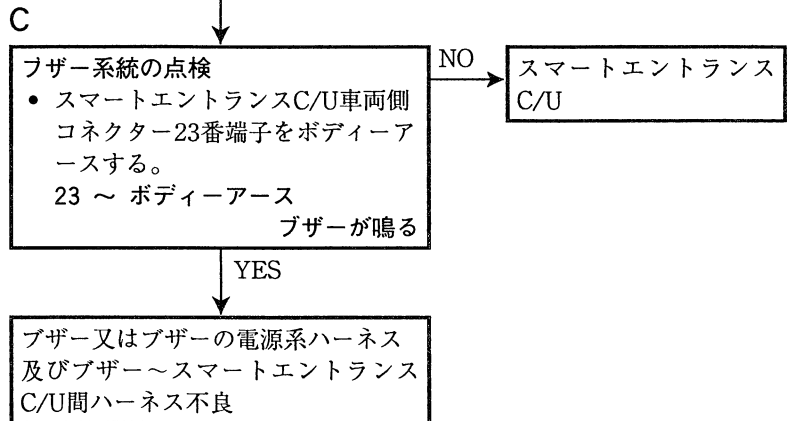
OK → 次ページへ

キー抜き忘れ警報・ライト消し忘れ警報故障診断

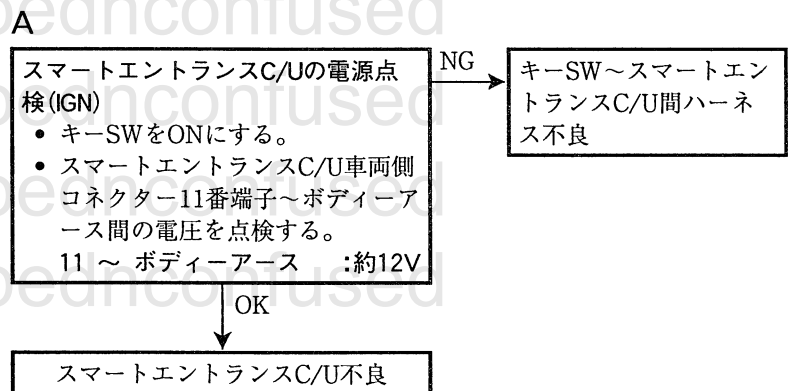


現象1 キースイッチがOFF位置、ライトスイッチがON（一段）で
運転席ドアを開けてもブザーが鳴らない（続き）

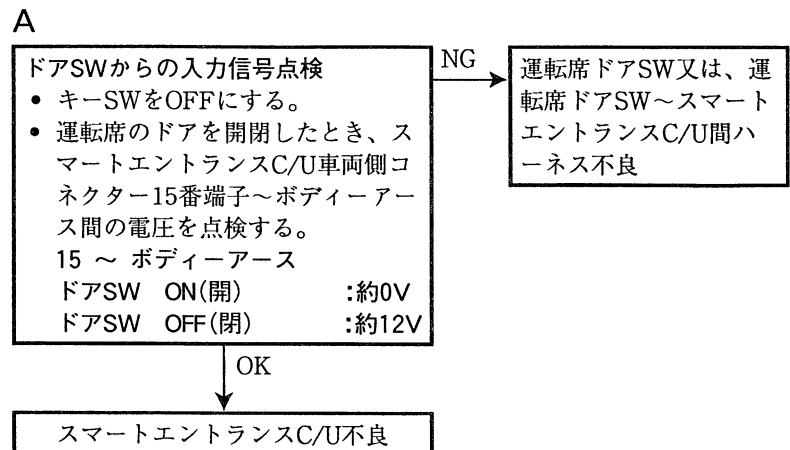
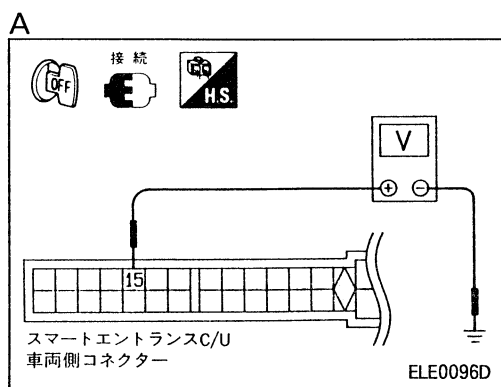
前ページより

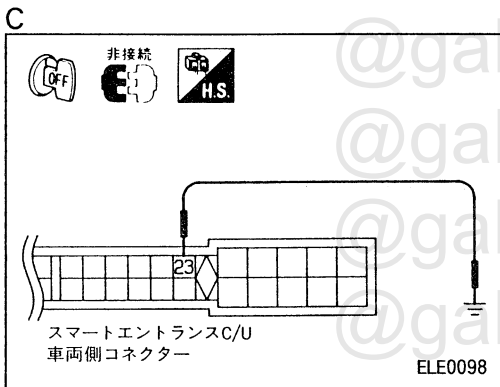
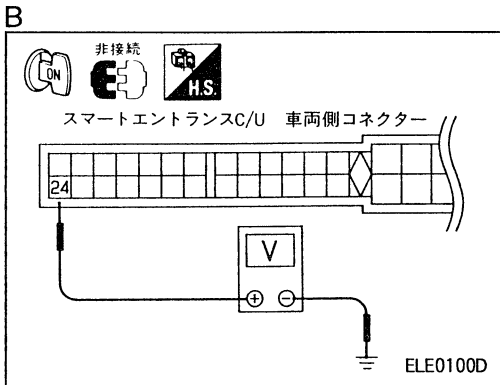
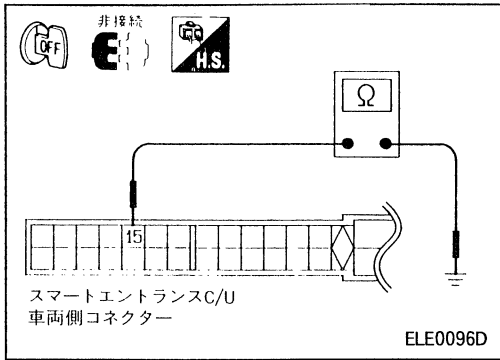


現象2 キースイッチがON位置、ライトスイッチがON（一段）で運転席ドアを開けるとブザーが鳴る



現象3 キースイッチがOFF位置、運転席ドア閉で、ライトスイッチをON（一段）にするとブザーがなる





現象4 キーがキースイッチに差し込まれているとき (ON位置以外)、運転席ドアを開けてもブザーが鳴らない

A

ドアSWからの入力信号点検

- キーSWをOFFにする。
- スマートエントリーC/Uのコネクターを外す。
- 運転席のドアを開閉したときのスマートエントリーC/U車両側コネクター15番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

15～ボディーアース
ドアSW ON(開) :導通あり
ドアSW OFF(閉) :導通なし

NG

運転席ドアSW又は、運転席ドアSW～スマートエントリーC/U間ハーネス不良

OK

B

キー差し込み検知SWからの入力信号点検

- キーを抜き状態と差し込み状態でそれぞれスマートエントリーC/U車両側コネクター24番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

24～ボディーアース
キー差し込み状態 :約12V
キー抜き状態 :約0V

NG

キー差し込み検知SW又は、キー差し込み検知SW～スマートエントリーC/U間ハーネス不良

OK

C

ブザーシステムの点検

- スマートエントリーC/U車両側コネクター23番端子をボディーアースする。

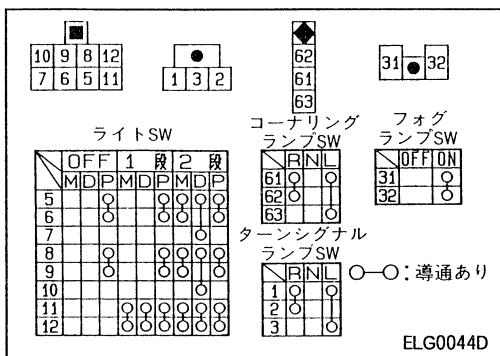
23～ボディーアース :ブザーが鳴る

NO

ブザー、ブザーの電源系ハーネス又は、ブザー～スマートエントリーC/U間ハーネス不良

YES

スマートエントリーC/U不良



構成部品点検

ライト・ターンシグナルスイッチ 点検

- サーキットテスターを使用し、ライト・ターンシグナルスイッチの各作動状態における端子間の導通を点検する。

キースイッチ照明故障診断

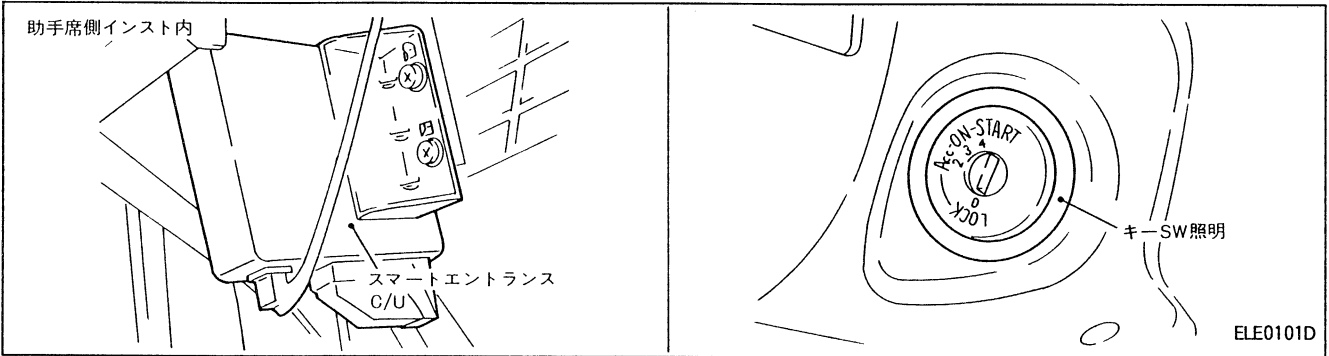
準備品

一般計測機器

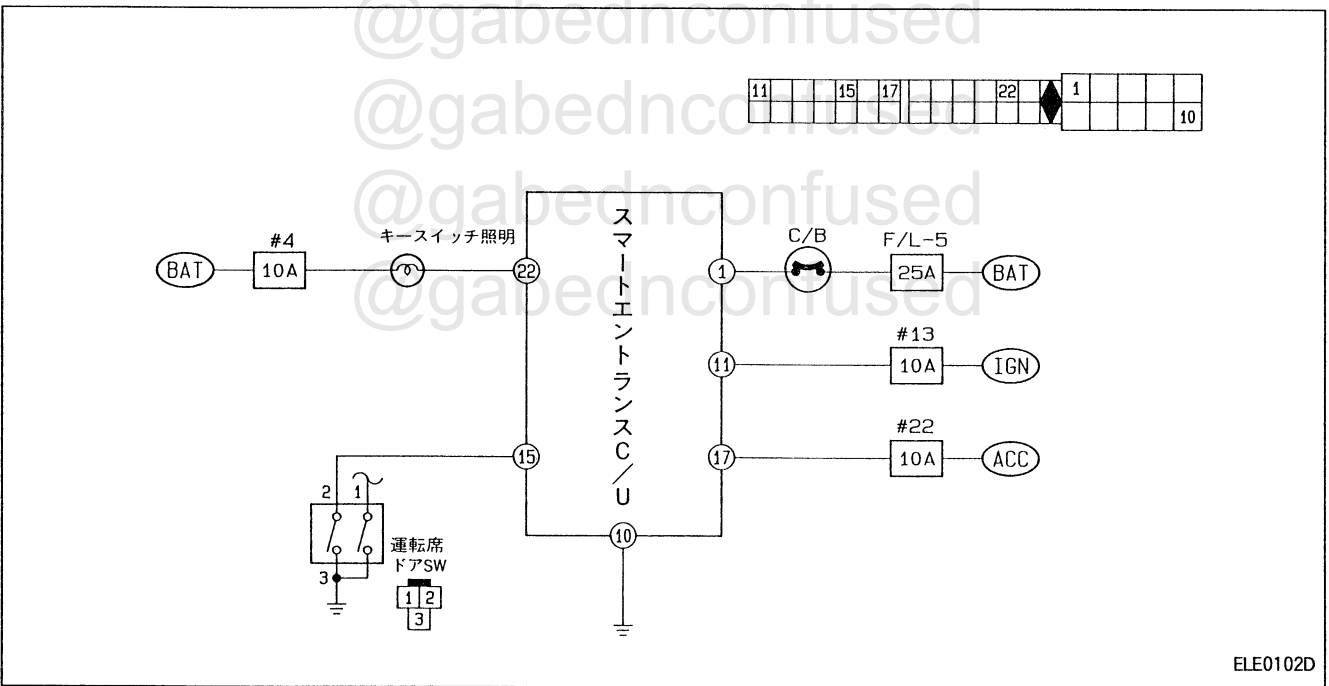
名称	用途
サーキットテスター	電圧及び導通点検

システム概要

構成部品取付位置



回路図



キースイッチ照明故障診断

スマートエントランスコントロールユニット
入出力信号基準値
サーキットテスターによる基準値

端子 番号	測定の条件		基準値	信号名称	
	キーSW	操作			
1	OFF	—	約12V	BAT電源	
10	OFF	—	約0Ω(注)	アース	
11	ON	—	約12V	IGN電源	
15	OFF	運転席ドアSW	ON(開)	約0V	運転席ドアSW信号
			OFF(閉)	約12V	
17	ACC	—	約12V	ACC電源	
22	OFF	運転席ドアSW	ON(開)	約0V	キーSW照明への出力信号
			OFF(閉)	約0.5→約12V	

注：コントロールユニットのコネクターを外し、車両側コネクター端子で測定した値

診断前点検

ヒューズ、ヒューズブルリンクの点検

ヒューズ及びヒューズブルリンクの位置は「GI編電気系統の点検」の項参照。

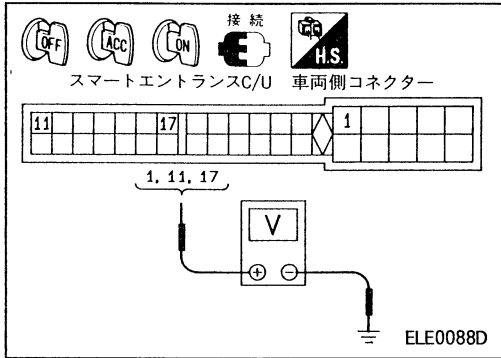
ヒューズブロック内（インストロア右部）

ヒューズ番号	容量	電源系統	主な負荷
#4	10A	BAT	ルームランプ
#13	10A	IGN	パワーアンテナ
#22	10A	ACC	オーディオ

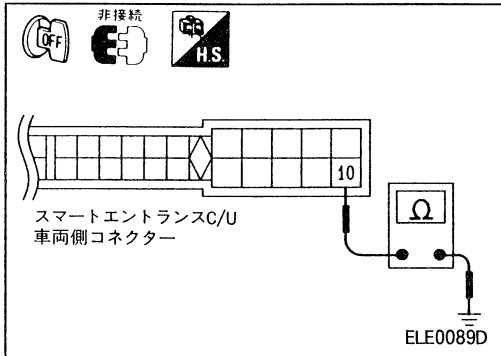
リレーボックス内（エンジンルーム内右部）

ヒューズブルリンク番号	容量	電源系統	主な負荷
F/L-5	25A	BAT	パワーウインド

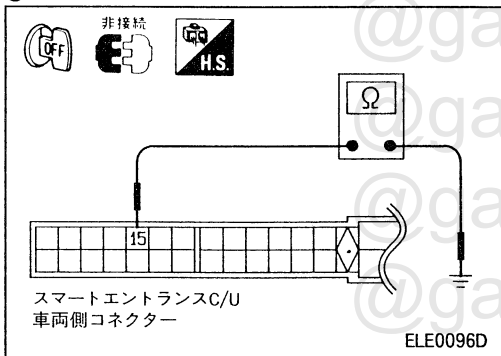
A



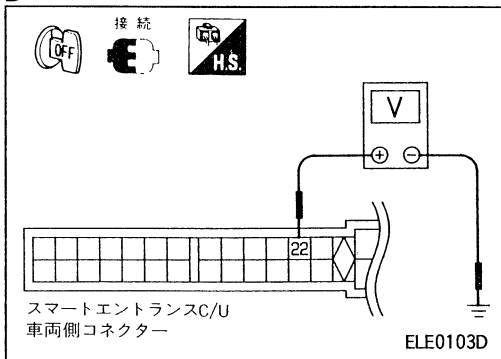
B



C



D



現象別の故障診断

現象1 キースイッチ照明が点灯しない

A

スマートエントリーC/U電源点検

NG → 電源系ハーネス不良

- スマートエントリーC/U車両側コネクタ1, 11, 17番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

キーSW、OFF

1 ～ ボディーアース :約12V

キーSW、ON

11 ～ ボディーアース :約12V

キーSW、ACC

17 ～ ボディーアース :約12V

OK ↓

B

スマートエントリーC/Uアース点検

NG → アース系ハーネス不良

- スマートエントリーC/Uのコネクタを外す。
- スマートエントリーC/U車両側コネクタ10番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

10 ～ ボディーアース :導通あり

OK ↓

C

ドアSWからの入力信号点検

NG → 運転席ドアSW又は、運転席ドアSW～スマートエントリーC/U間ハーネス不良

- キーSWをOFFにする。
- 運転席のドアを開閉したときのスマートエントリーC/U車両側コネクタ15番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

15 ～ ボディーアース

ドアSW ON(開) :約0V

ドアSW OFF(閉) :約12V

OK ↓

D

キーSW照明への出力信号点検

NG → スマートエントリーC/U不良

- ドアを開状態から閉じたとき、スマートエントリーC/U車両側コネクタ22番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

22 ～ ボディーアース


ドアを閉じた直後は約0.5V、その後徐々に高くなり約10秒後、約12V

OK ↓

バルブ切れ又は、キーSW照明電源系ハーネス、及びキーSW照明～スマートエントリーC/U間ハーネス不良

メーター故障診断

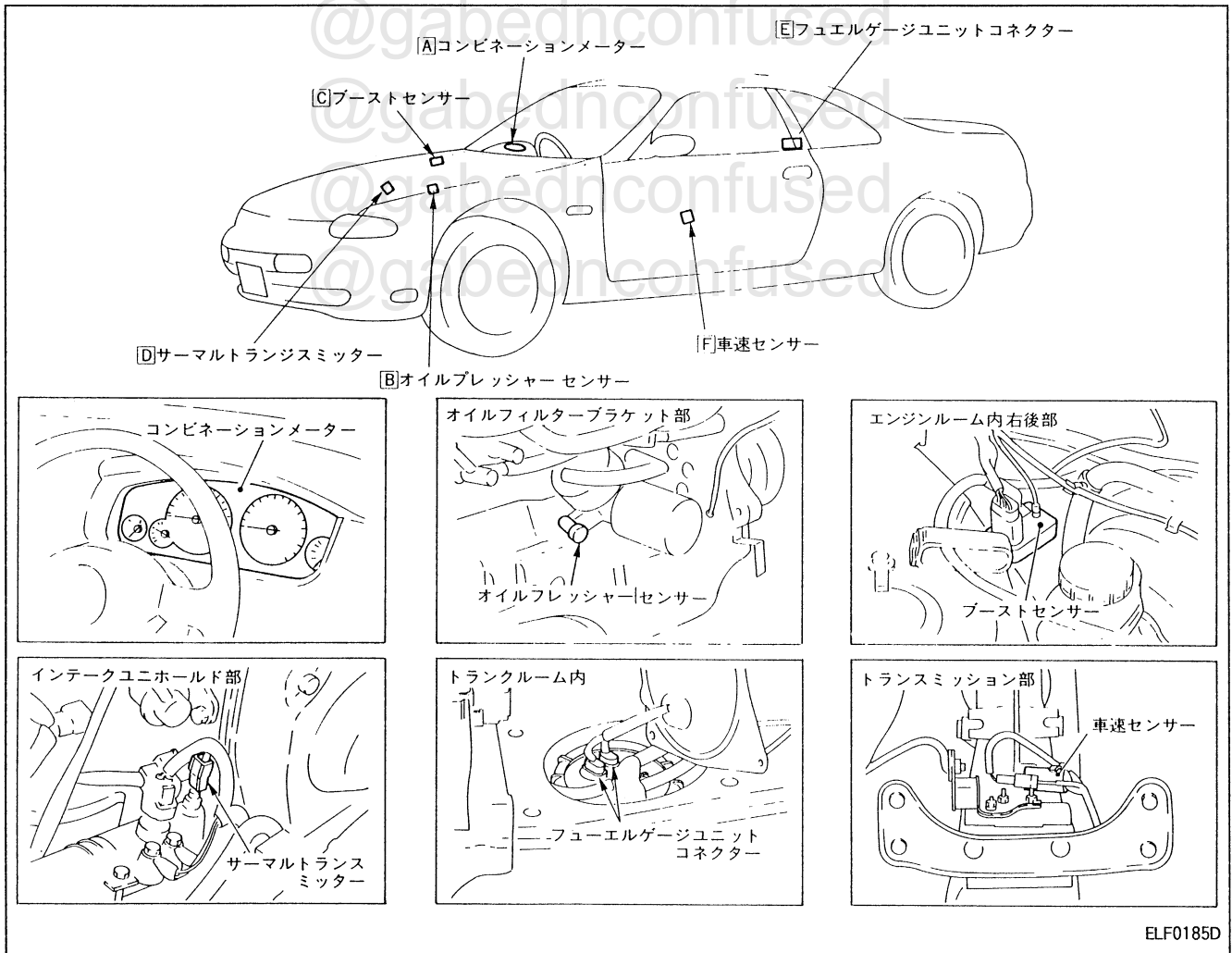
準備品 特殊工具

名称	用途	備考
バキュームハンディ ポンプ EG1513 0000  ZZA0755D	ブーストセンサー点検	既設

一般計測機器

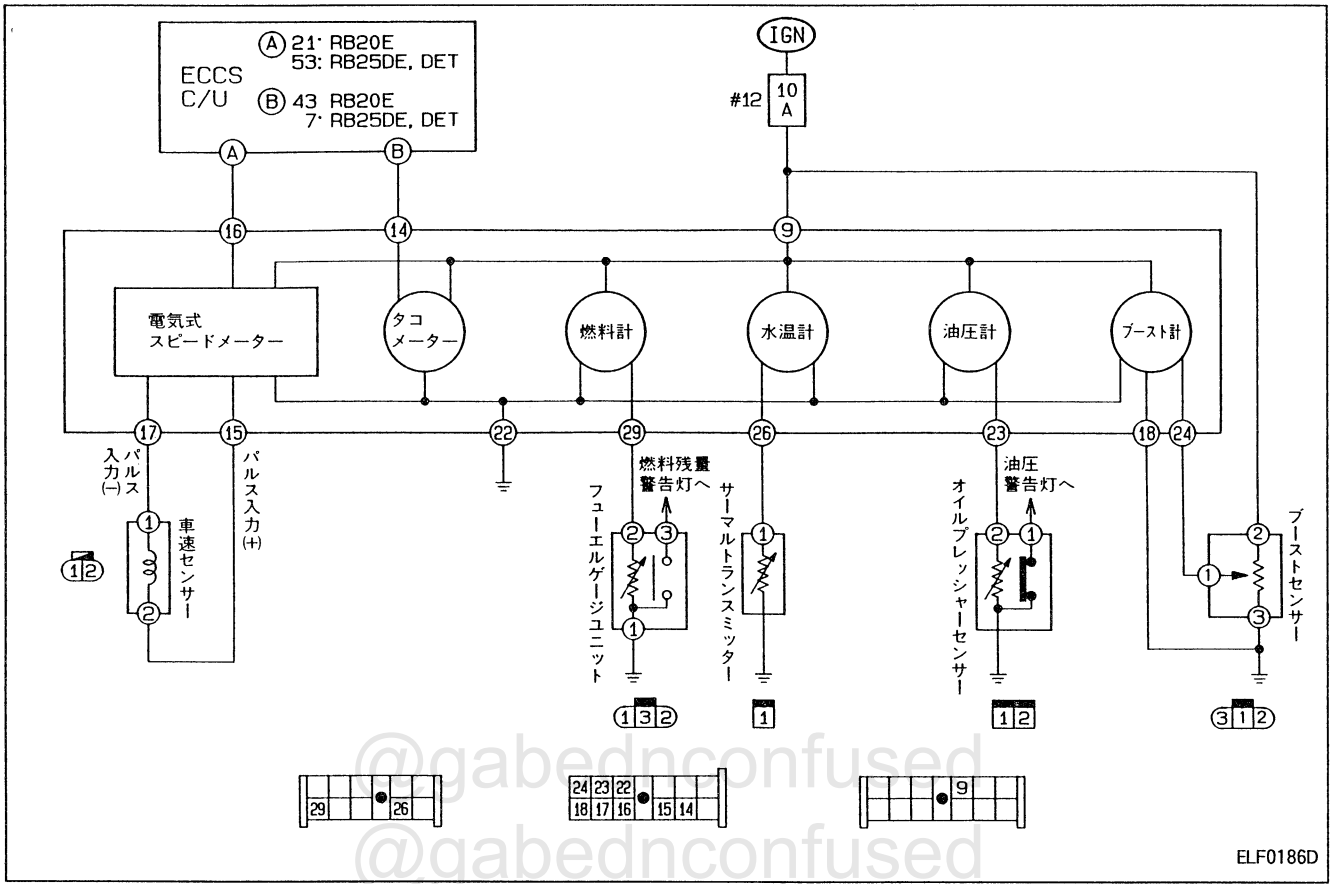
名称	用途
サーキットテスター	電圧及び導通点検
オシロスコープ	波形測定

システム概要 構成部品取付位置



ELF0185D

計器関係回路図



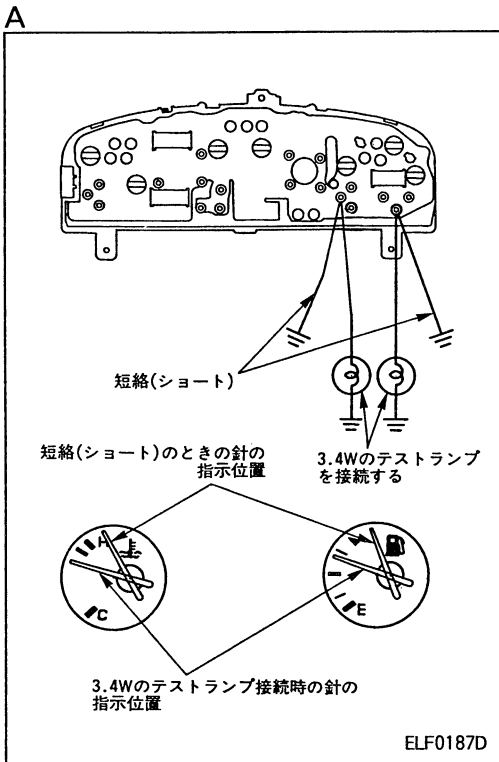
ELF0186D

診断前点検

ヒューズ点検

ヒューズの位置は「GI編電気系統の点検」の項参照。

ヒューズ番号	容量	電源系統	主な負荷
#12	10A	IGN	コンビネーションメーター



現象別の故障診断

現象1 燃料計又は水温計のゲージが作動しない、指示誤差が大きい

A

燃料計・水温計の作動点検

- サーマルトランスミッター、フューエルゲージユニットのコネクターを外す。
- 燃料計・水温計取付スクリュー(左図参照)に3.4Wのテストランプを接続し、アースさせたとき燃料計、水温計ともにスムーズにゲージが左図の位置に上昇することを確認する。
- 燃料計・水温計取付スクリュー(左図参照)にリード線を接続し、短絡(ショート)させたとき燃料計、水温計ともにスムーズにゲージが左図の位置に上昇することを確認する。
- 次にテストランプのアースを外したとき及びリード線を外したとき燃料計、水温計ともにスムーズにゲージが下降することを確認する。

NG

燃料計又は水温計の不良

OK

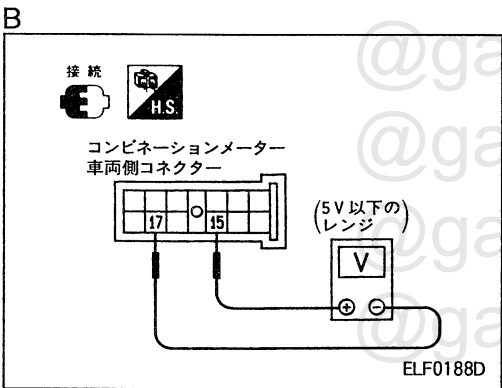
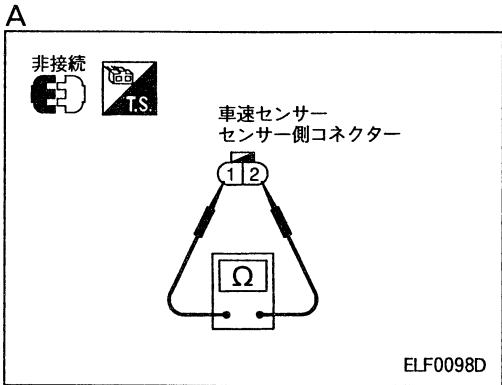
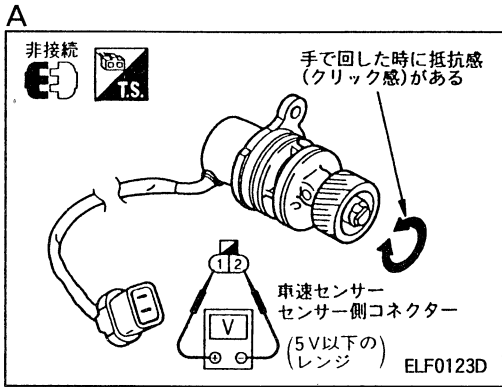
フューエルゲージユニット及びサーマルトランスミッターの点検
(「構成部品点検」の項参照)

NG

フューエルゲージユニット及びサーマルトランスミッター不良

OK

コンビネーションメーター～フューエルゲージユニット及びサーマルトランスミッター間ハーネス不良



現象2 スピードメーターが常に0km/hを表示する

現象3 スピードメーターの指示誤差が大きい、又は指示値が振らつく

車速センサーの取付にガタ又は緩みがないか点検する。 NG → 車速センサー取付不良

OK

A 車速センサー点検 NG → 車速センサー不良

- 車速センサーのコネクターを外す。
- 車速センサーを回したとき、磁力による抵抗感があるか点検する。
- 車速センサーを回したときの車速センサーコネクター1～2番端子間の発生電圧を点検する。
1～2 : 0 ~ 約5Vの範囲で振れる
参考:サーキットテスターの測定レンジは5V以下に合わせる。
- 車速センサーのコネクターを外す。
- 車速センサーのコネクター1～2番端子間の抵抗を点検する。
1 ~ 2 : 約250 ~ 約330Ω

OK

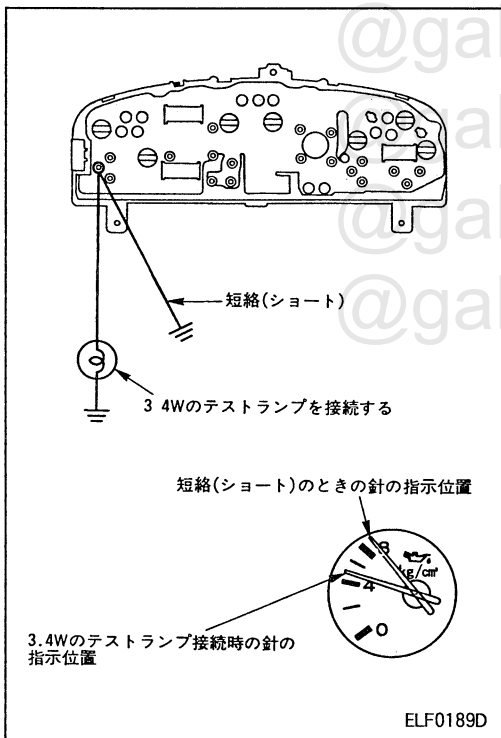
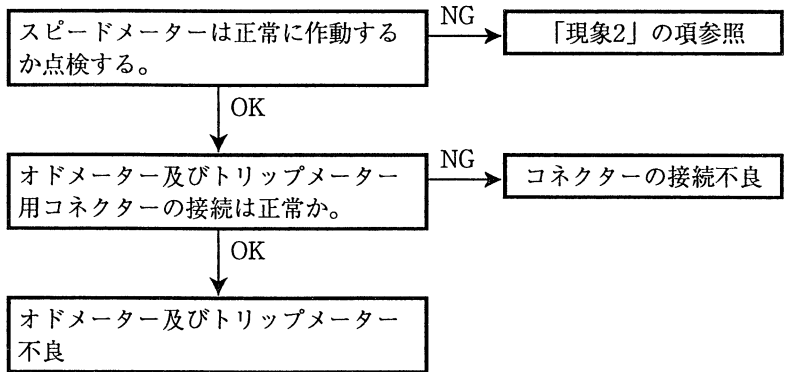
B スピードメーターの車速センサー出力回路の点検 OK → スピードメーター不良

- 車速センサーのコネクターを接続する。
- 後輪をジャッキアップする。
- 後輪をゆっくり回転させながらコンビネーションメーター車両側コネクター15～17番端子間の電圧を点検する。
15 ~ 17
指針がほんのわずかに振れる。
(RB25DET(M/T):8パルス/回転
上記以外:16パルス/回転)
参考:サーキットテスターの測定レンジは5V以下に合わせる。

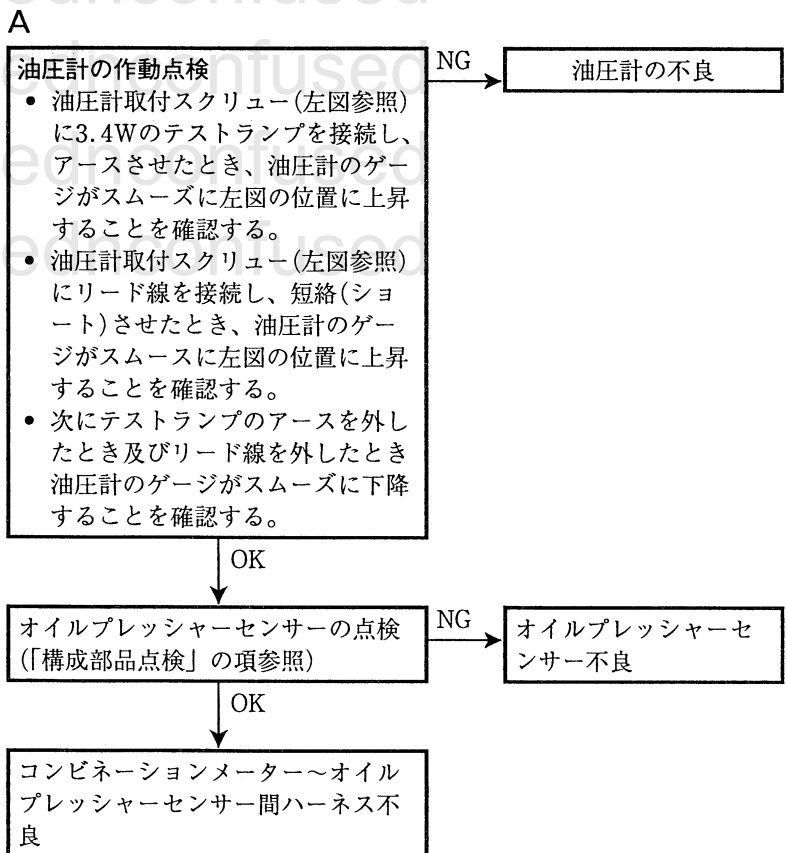
NG

車速センサー～スピードメーター間のハーネス不良

現象4 オドメーター及びトリップメーターが作動しない

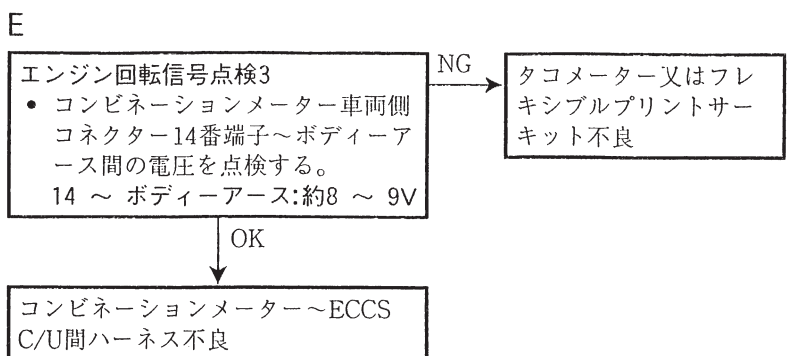
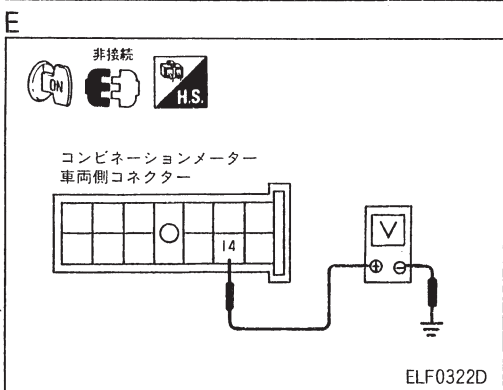
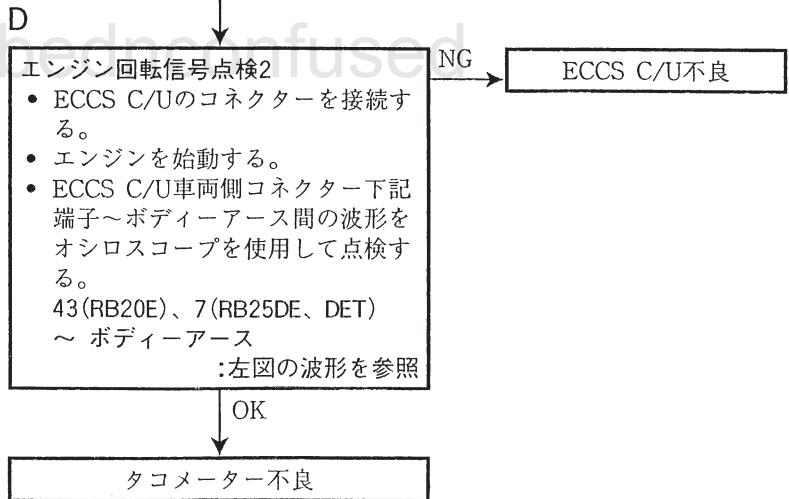
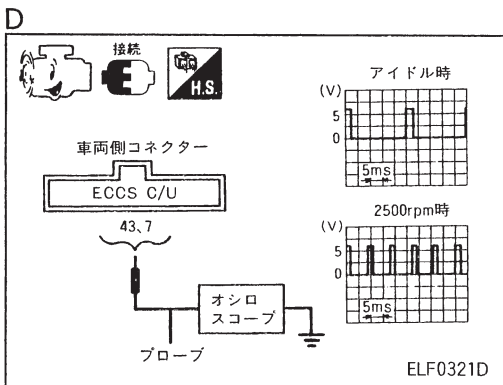
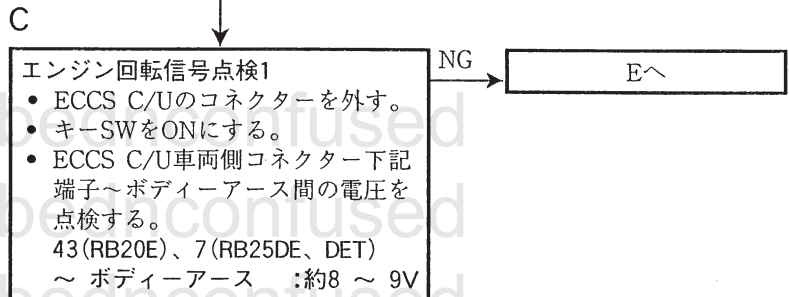
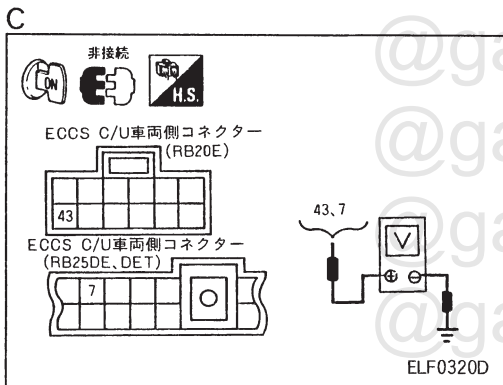
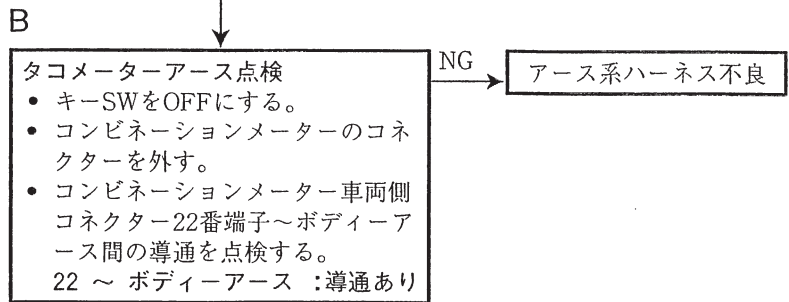
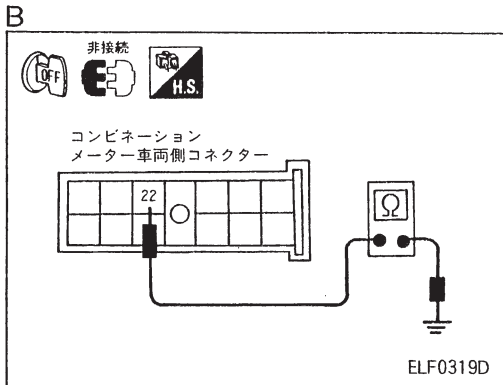
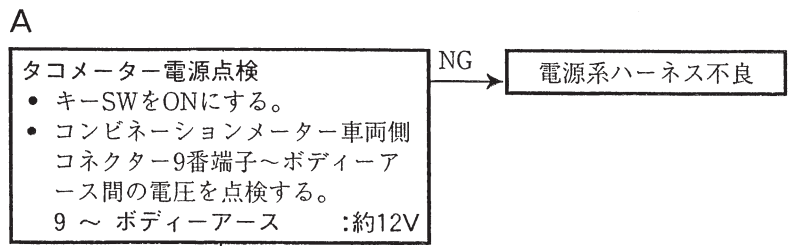
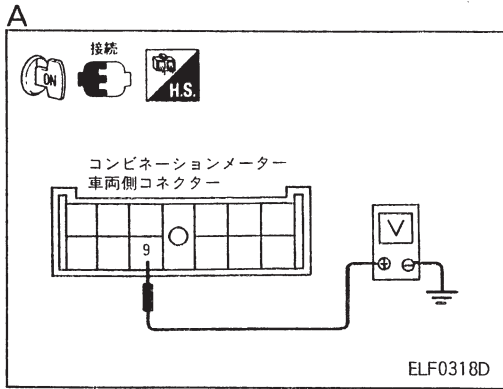


現象5 油圧計が作動しない、又は指示誤差が大きい

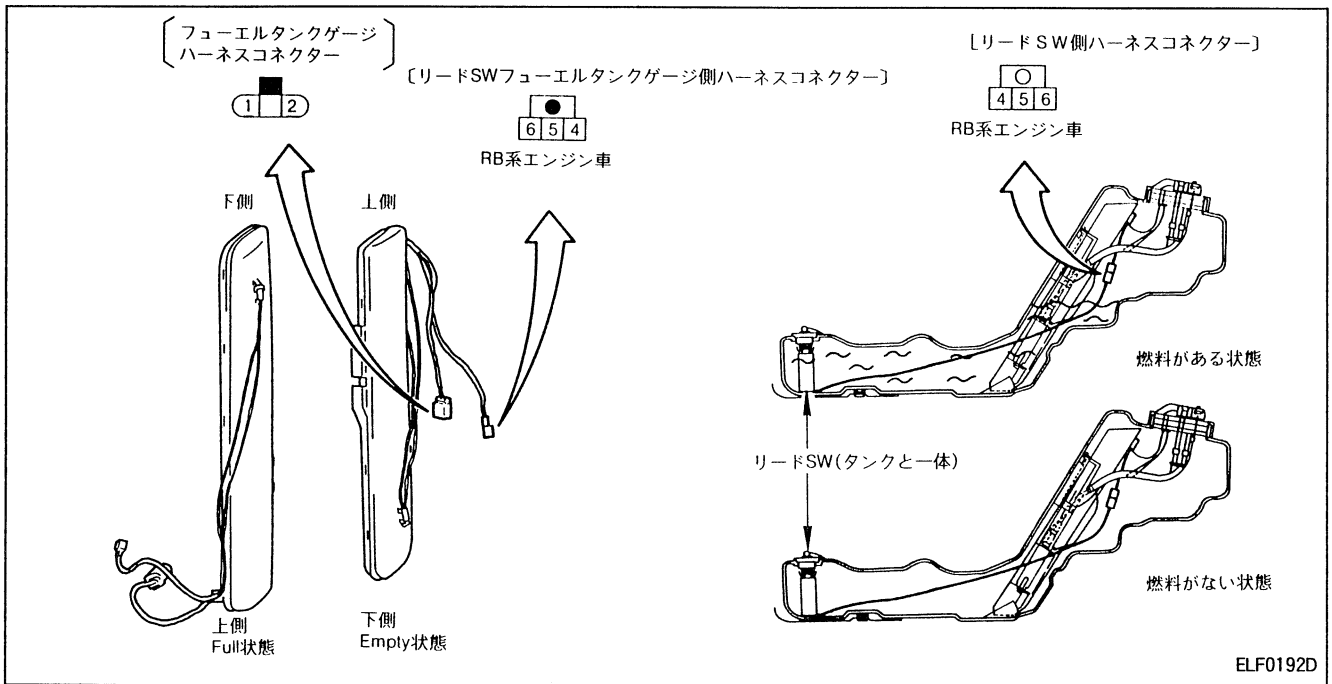


メーター故障診断

現象6 タコメーターが作動しない



構成部品点検



フューエルゲージ点検

- フューエルゲージを車両より取り外す。
(「FE編フューエルポンプ・フューエルゲージ」の項参照)
- フューエルゲージをEmpty状態(車両取付状態) また、Full状態(車両取付と逆の状態)にし、ゲージ側の抵抗を点検する。

測定端子		フロートの位置	抵抗値(Ω)
1	2	Full	約4~6
		Empty	約93

リードスイッチ(タンクと一体)点検

- フューエルゲージを車両より取り外す。
(「FE編フューエルポンプ、フューエルゲージ」の項参照)
- タンク内のリードスイッチ側各端子間の導通を点検する。

測定端子	条件	導通
4~5 4~6	燃料がある状態	あり
	燃料がない状態	なし

参考 : タンク残量2リットルで導通なしになる。

- フューエルゲージをEmpty状態にする。
- リードスイッチのフューエルゲージ側各端子間の抵抗を点検する。

測定端子	抵抗値(Ω)
4~1	約87
5~1	約80
6~1	約93

構成部品点検 (続き)

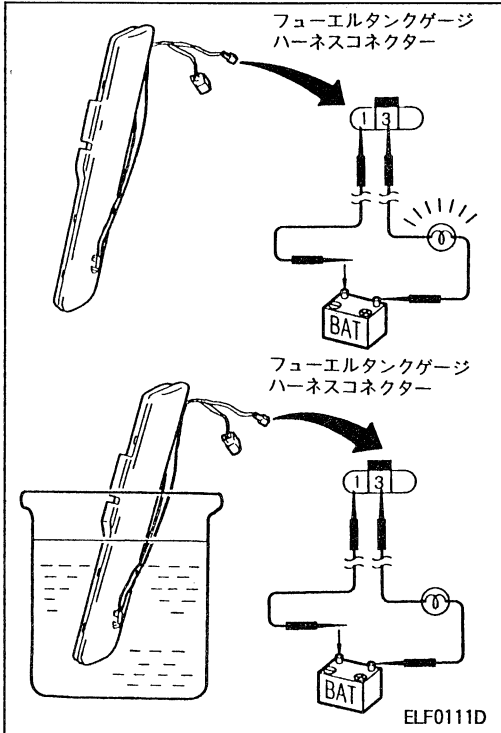
燃料残量警告灯センサー

12V-3.4W相当のテストランプを左図のように接続し点検する。

- 左図のようにホワイトガソリンにセンサーを浸さないとき、ランプが点灯すること。
- 左図のようにホワイトガソリンにセンサーを浸したとき、ランプが点灯しないこと。

参考 : テストランプが点灯するまで、少しの間時間がかかる。

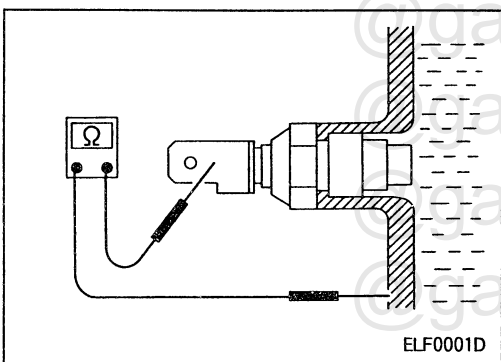
- 注意 :
- 点検は、テストランプのテスト棒を先にフェューエルタンクゲージハーネスコネクターに差し込み、後に電源回路を接続する。
 - 電源回路の接続は、ホワイトガソリンの容器から離れた場所で行うこと。



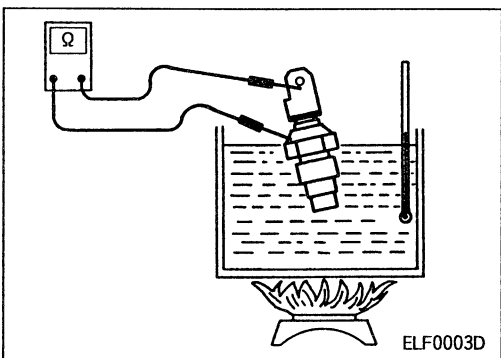
サーマルトランスミッター

- 十分にエンジンを暖機した後(約80℃前後)サーマルトランスミッター～ボディーアース間の抵抗値を点検する。

基準値 : 約70 ~ 90Ω



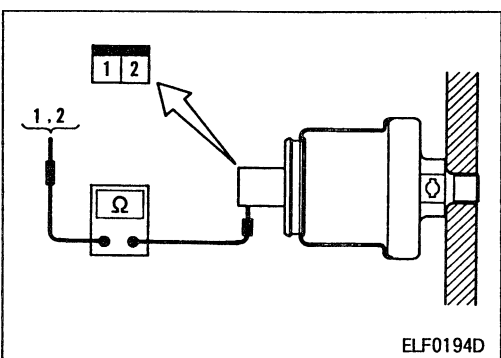
- 上記の点検を行って基準値より大きく外れている場合は、サーマルトランスミッターを車両より取り外し、左図要領で点検する。



オイルプレッシャーセンサー

- オイルプレッシャーセンサー (1,2番端子) ~ オイルプレッシャーセンサー本体間の導通を点検する。

オイルプレッシャーSW (警告灯側)



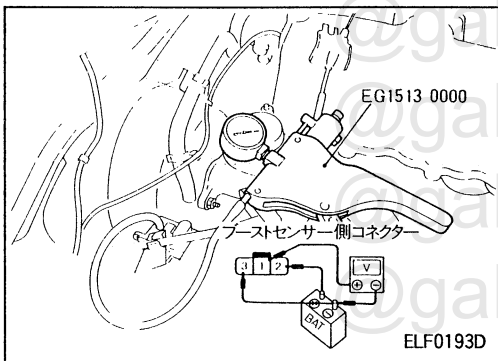
測定端子	条件	油圧Mpa {kg/cm ² }	導通
1~オイルプレッシャーセンサー本体	エンジン始動時	0.02~0.29 {0.2~0.3} 以上	無し
	エンジン停止時	0.02~0.29 {0.2~0.3} 以下	有り

メーター故障診断

構成部品点検 (続き)

オイルプレッシャーセンサー (ゲージ側)

測定端子	油圧Mpa {kg/cm ² }	抵抗値
2~オイルプレッシャーセンサー本体	0 {0}	約8.25kΩ
	0.2 {2}	約39Ω
	0.39 {4}	約28Ω
	0.59 {6}	約16.5Ω
	0.78 {8}	約6Ω



ブーストセンサー

- バキュームハンディポンプ (特殊工具) をブーストセンサーに接続する。
- 2番端子に電源電圧 (約12V) を加え、3番端子をアースに接続したときの、1番端子~アース間の電圧を点検する。

圧力kPa {mmHg}	電圧
大気圧	約2.1V
-53 {-400mmHg}	約1.3V

オーディオ故障診断

準備品

一般計測機器

名 称	用 途
サーキットテスター	電圧及び導通点検

システム概要

概要

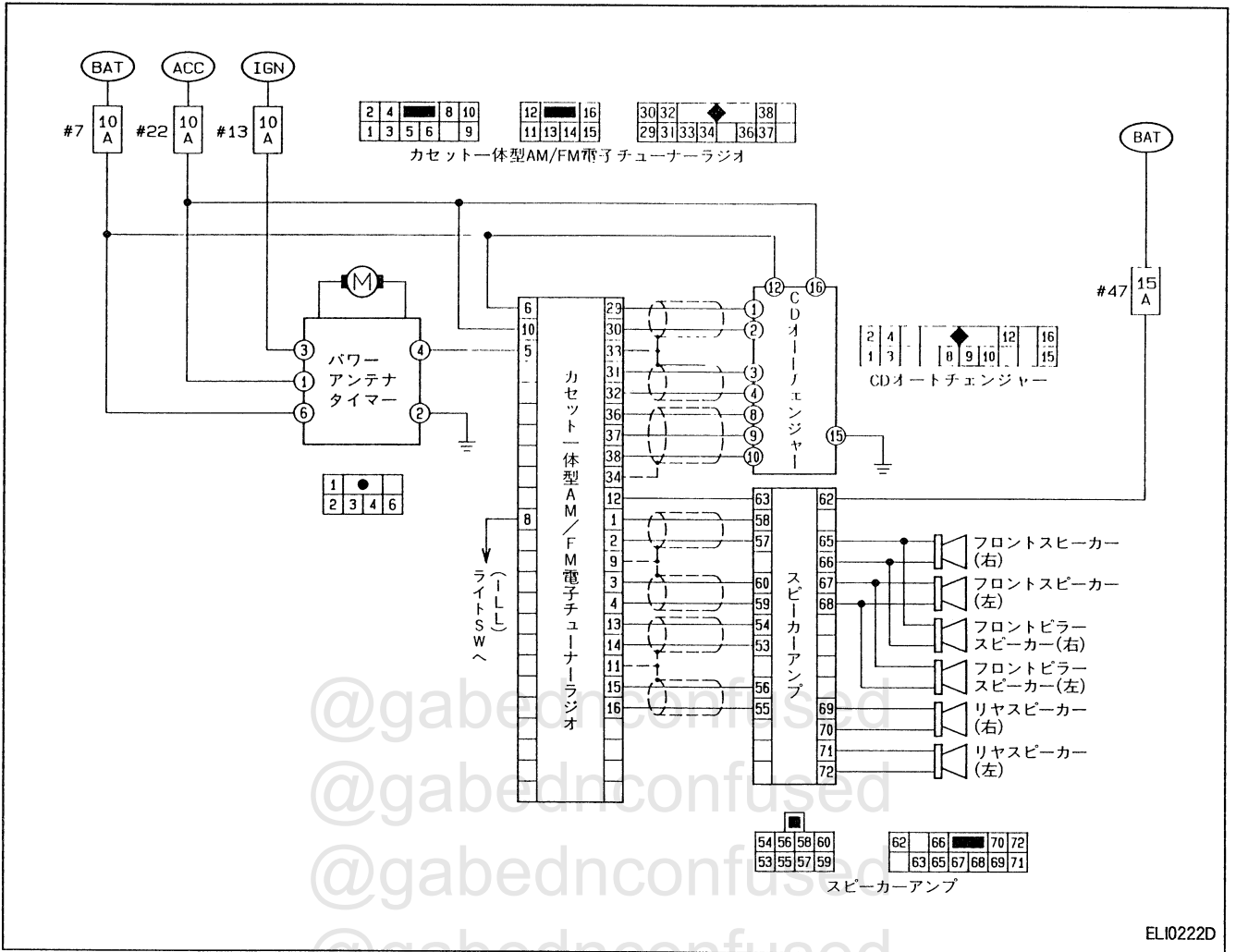
- カセット一体型AM/FM電子チューナーラジオ（以下電子チューナーラジオと呼ぶ）は、CDオートチェンジャーコントロール機能がある。
- 電子チューナーラジオは押されたボタンに対応する信号を多重通信でCDオートチェンジャーに送信し、CDオートチェンジャーが作動する。
また、CDオートチェンジャーは、作動状態を多重通信で電子チューナーラジオに送信し、電子チューナーラジオに作動状態を表示する。
- CDオートチェンジャーに故障が発生した場合は、電子チューナーラジオにエラーコードを表示する。

エラー表示

電子チューナーラジオの表示部に、下記の表示内容が出たときは下記の主要原因及び処理方法を参考のこと。

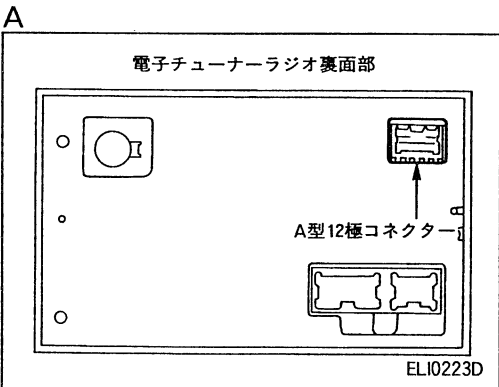
エラーコード	主要原因	処理方法	
CD Err	フォーカスエラー	ディスクの汚れ及び傷	CDを交換する。
		レーザーピックアップの異常	CDオートチェンジャーを交換する。
		レーザーピックアップの結露	トラックリッドを開け、結露の解消を待つ。
	CDメカエラー	機械的なCDの故障	CDオートチェンジャーを交換する。
	全CD逆向き挿入	CDをCDマガジンに正しくセットする。	
CD HHHH	トランクルーム内温度上昇	トラックリッドを開けトランクルームが常温近くになるまで待つ。	
CD no disk	ディスクエラー	CDがCDマガジンに入っていない	CDをCDマガジンに入れる。
		CDマガジンがCDオートチェンジャーに入っていない	CDマガジンがCDオートチェンジャーに入る。

回路図



現象別の故障診断

現象1 CD再生中にCDオートチェンジャーの操作ができなくなる



CDオートチェンジャー接続確認信号のリセット

NG → Cへ

1. キーSWをONにする。
2. キーSWをOFFにする。

- 1、2を順番に2~3回繰り返す。
- 電子チューナーラジオのCDボタンを押し、CDを操作する。
- FF、REW、APS、PROG、SCANボタンで操作できるか点検する。

OK ↓

A

コネクタ接続点検

NG → コネクタを正しく接続する。

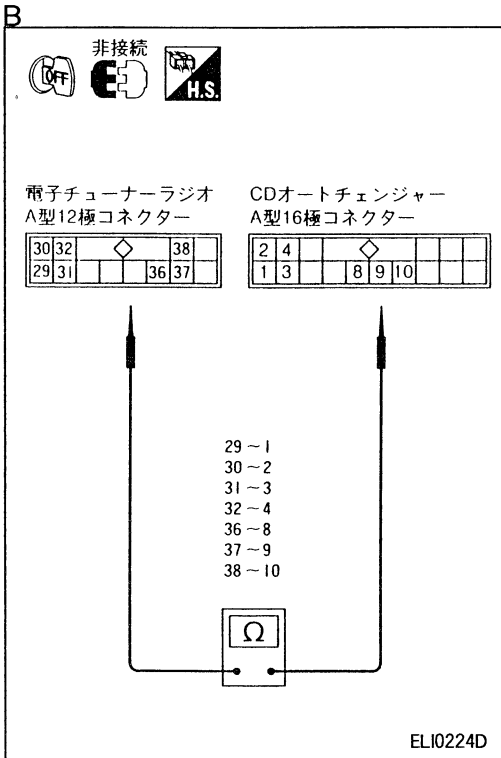
- 電子チューナーラジオのコネクタ（A型12極）及び、CDオートチェンジャーのコネクタ（A型16極）が正しく接続されているか点検する。

OK ↓ 次ページへ

オーディオ故障診断

現象1 CD再生中にCDオートチェンジャーの操作ができなくなる (続き)

前ページより



B

ハーネス導通点検

- キーSWをOFFにする。
- 電子チューナーラジオのA型12極のコネクタを外す。
- CDオートチェンジャーのA型16極のコネクタを外す。
- 下記電子チューナーラジオの車両側コネクタ～CDオートチェンジャーの車両側コネクタ間の導通を点検する。

29 ~ 1、30 ~ 2、31 ~ 3、32 ~ 4、36 ~ 8、37 ~ 9、38 ~ 10 :導通あり

NG → 電子チューナーラジオ～CDオートチェンジャー間ハーネス不良

OK → 電子チューナーラジオ修理又は交換

CDオートチェンジャーの作動確認

- キーSWをONにする。
- CDボタンを押す。
- FF、REW、APS、PROG、SCANボタンを押したときに、表示部及び音に変化するか確認する。

NG → CDオートチェンジャー修理又は交換

OK → 終了

C

多重通信系回路点検

- CDオートチェンジャーからCDマガジンを取り出す。
- CDボタンを押す。
- 電子チューナーラジオの表示部に「CD no disk」を表示するか点検する。

NG → Dへ

OK → CDオートチェンジャー修理又は交換

CDオートチェンジャーの作動確認

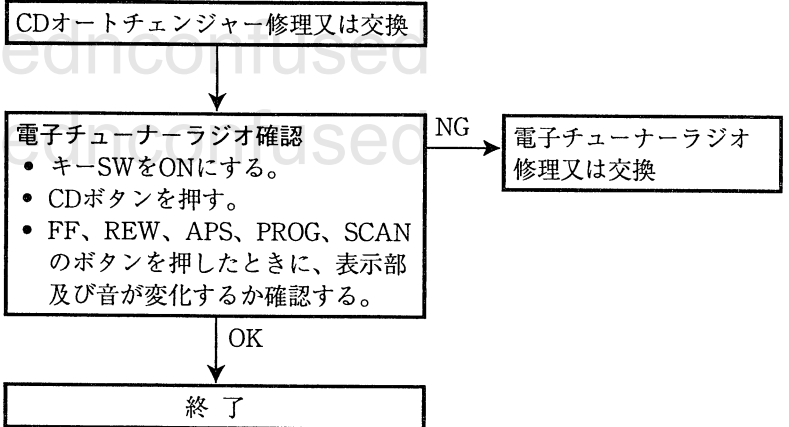
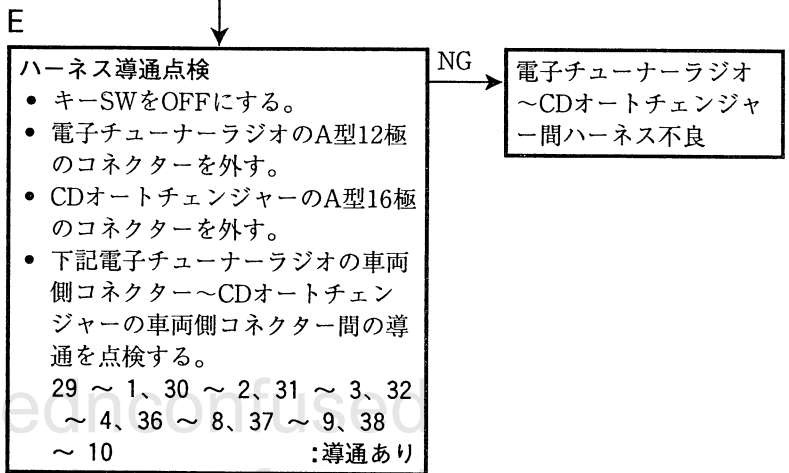
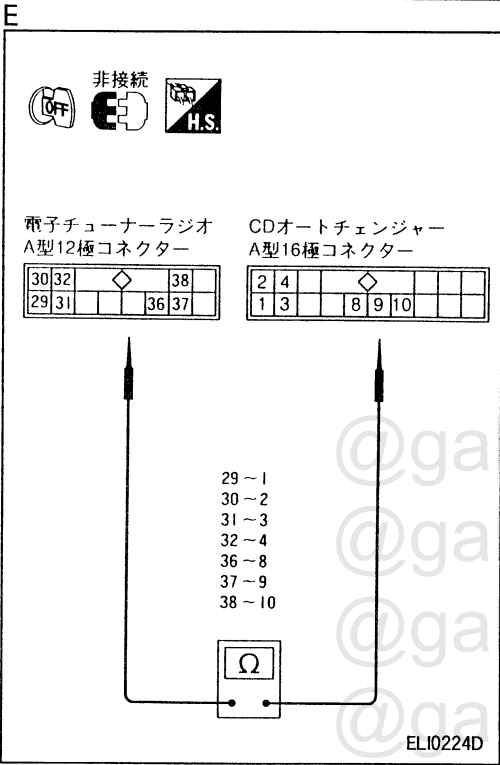
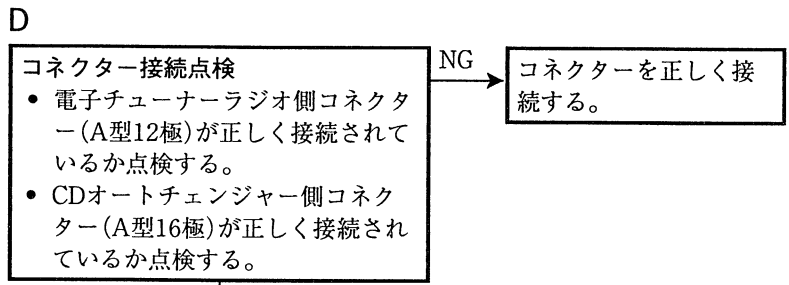
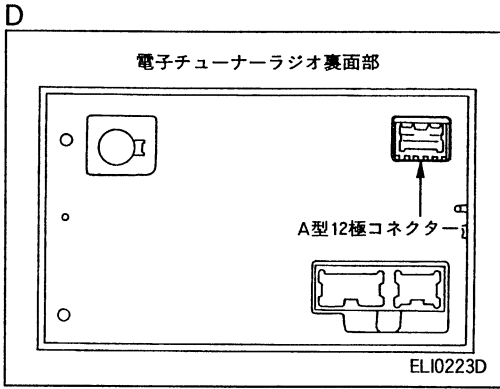
- キーSWをONにする。
- CDボタンを押す。
- FF、REW、APS、PROG、SCANのボタンを押したときに、表示部及び音に変化するか確認する。

NG → 電子チューナーラジオ修理又は交換

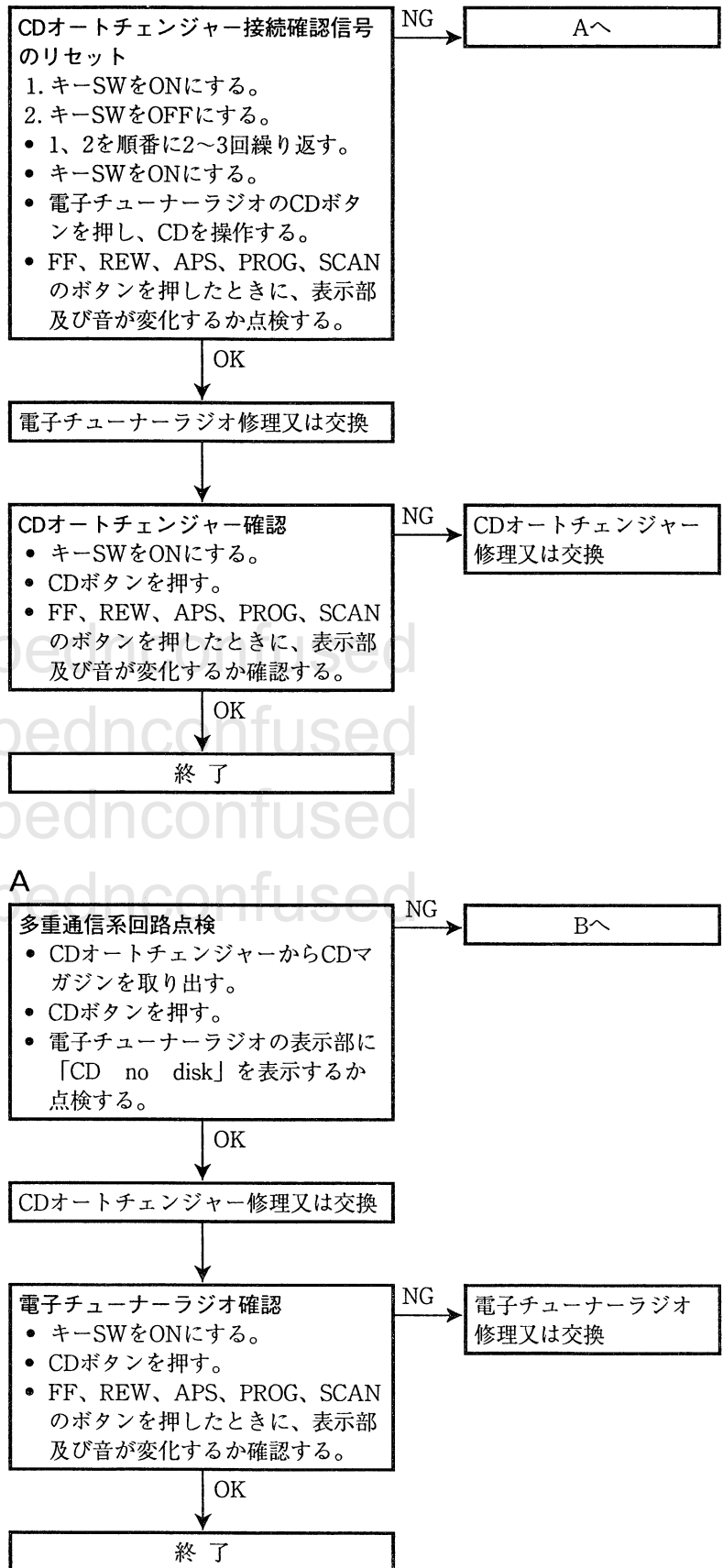
OK → 終了

オーディオ故障診断

現象1 CD再生中にCDオートチェンジャーの操作ができなくなる (続き)

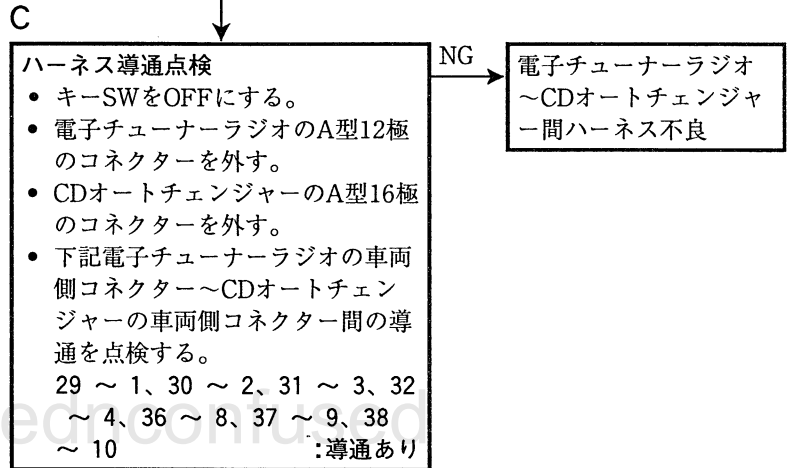
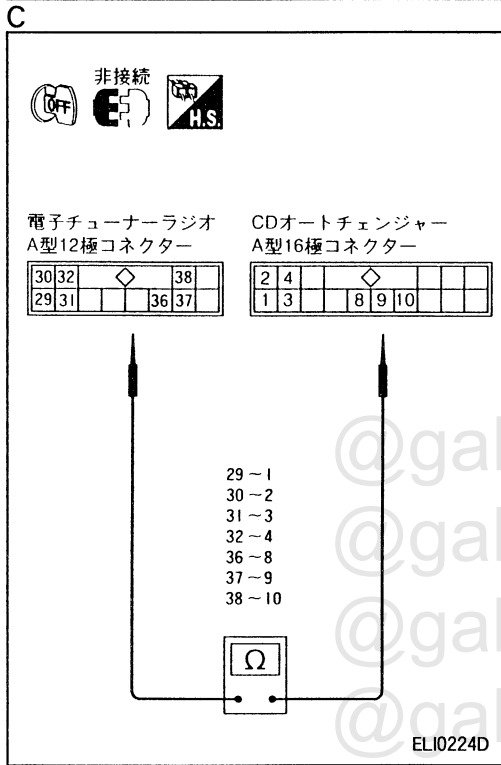
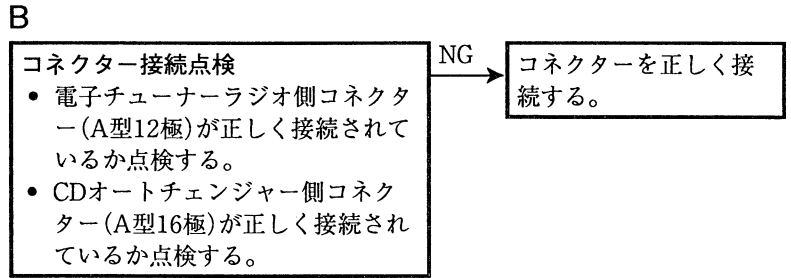
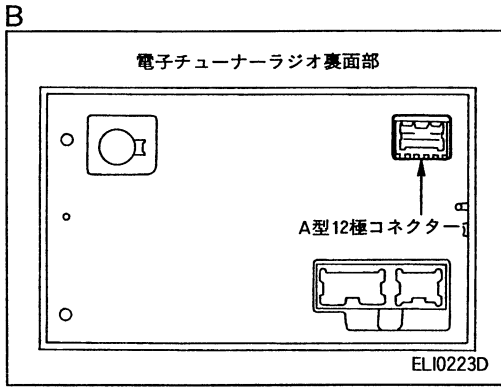


現象2 CDオートチェンジャー操作時に表示部が変化しない

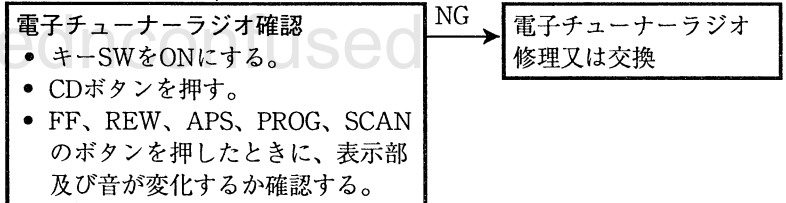


オーディオ故障診断

現象2 CDオートチェンジャー操作時に表示部が変化しない (続き)

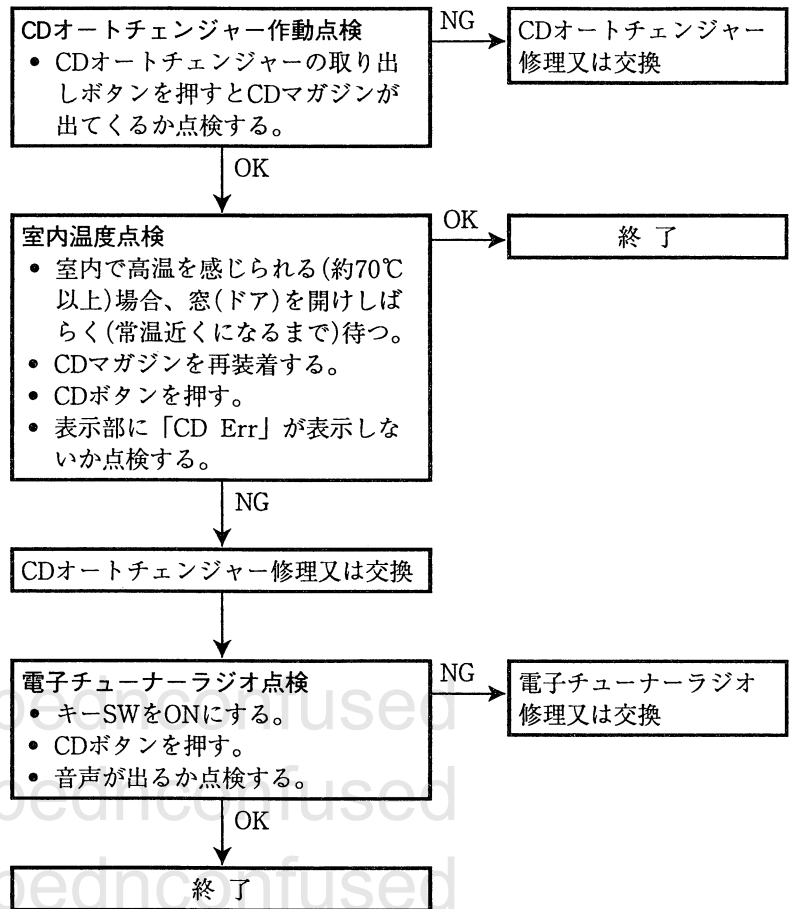


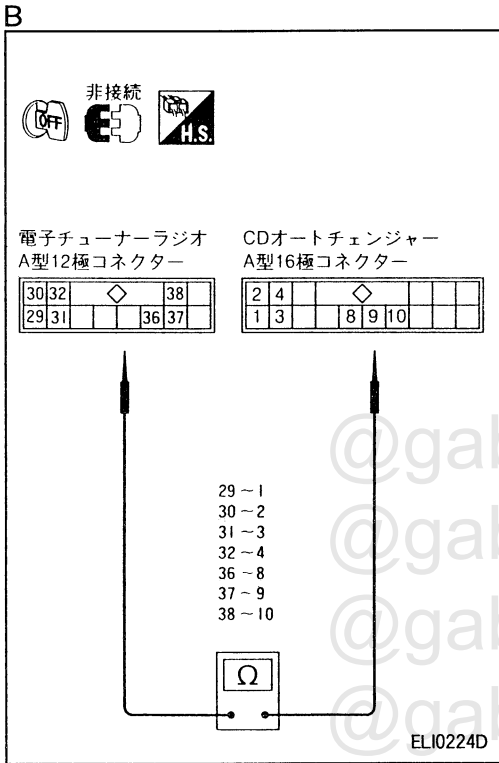
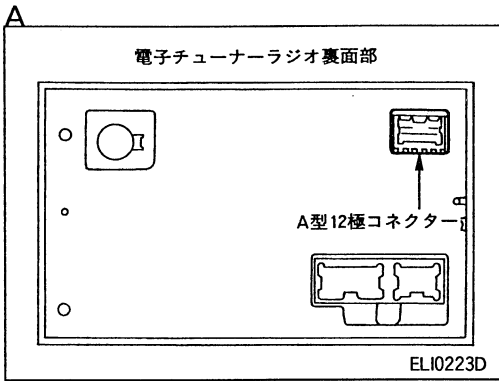
CDオートチェンジャー修理又は交換



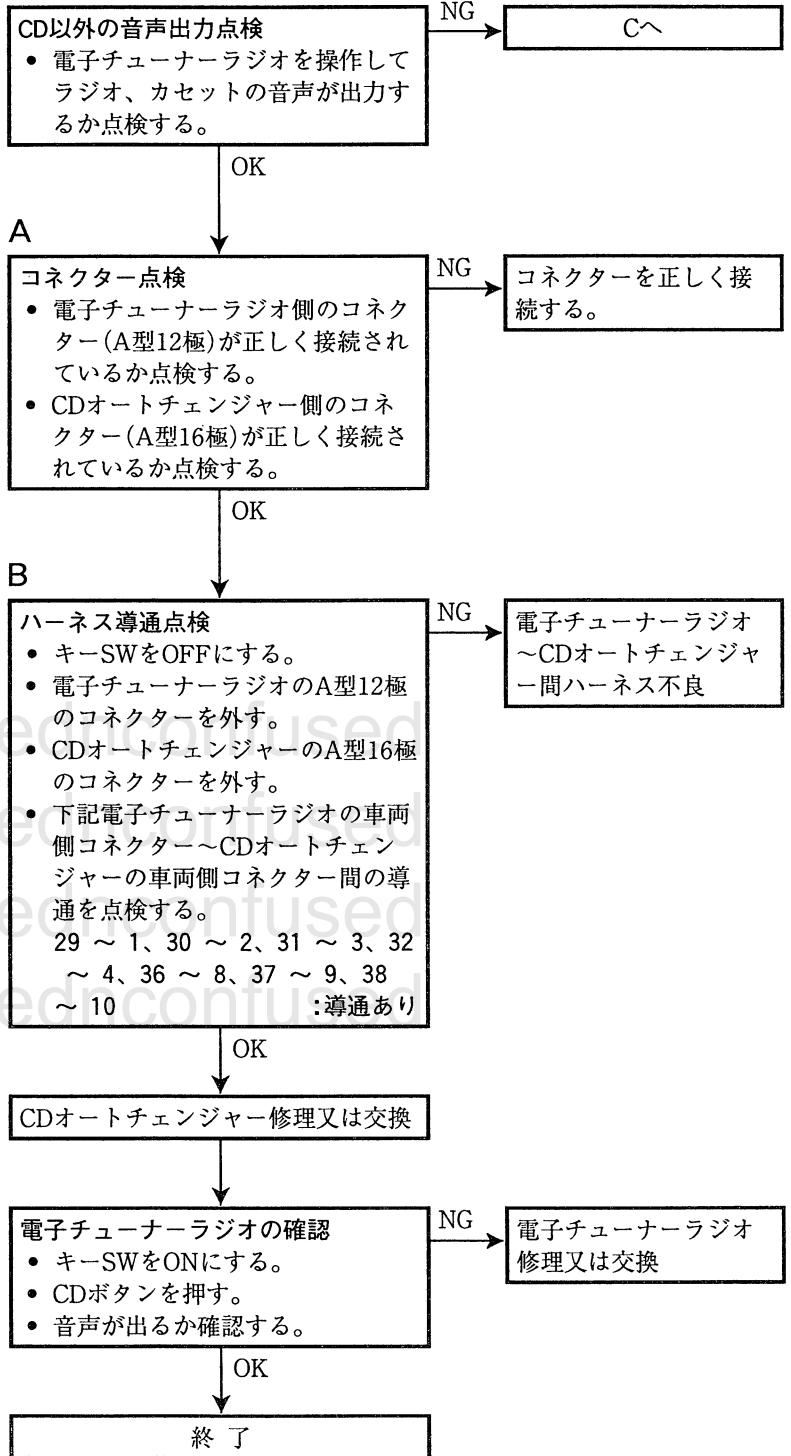
終了

現象3 音声がでない（電子チューナーラジオの表示部に「CD Err」を表示する）

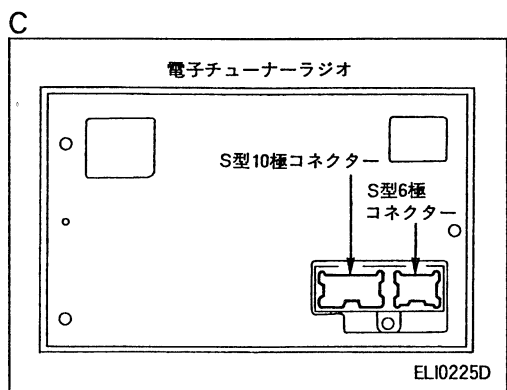




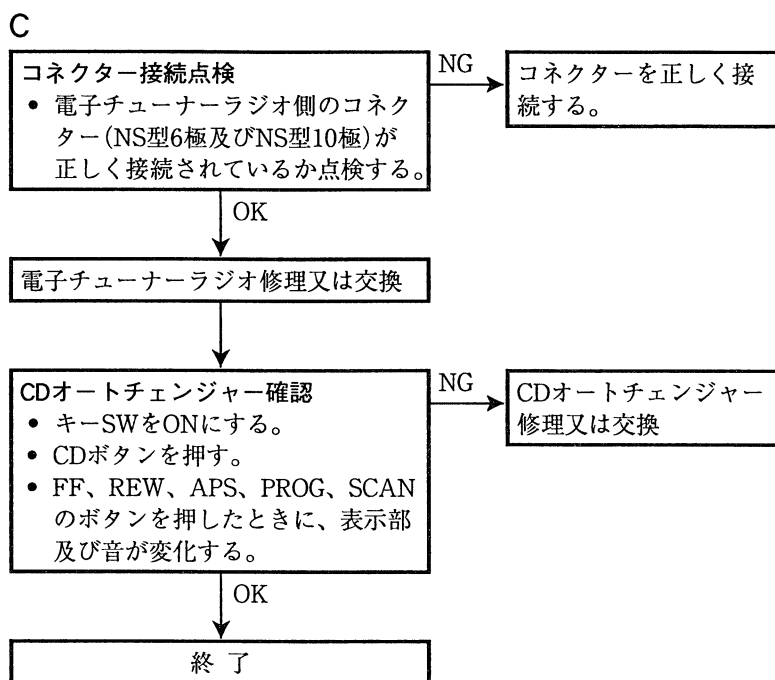
現象4 音が出ない（「CD Err」を表示しない）



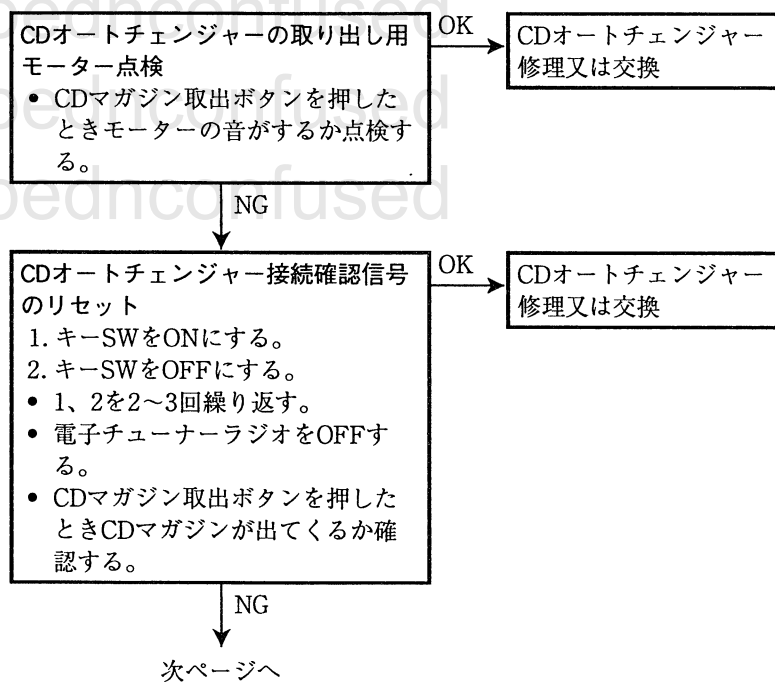
オーディオ故障診断



現象4 音が出ない（「CD Err」を表示しない） (続き)



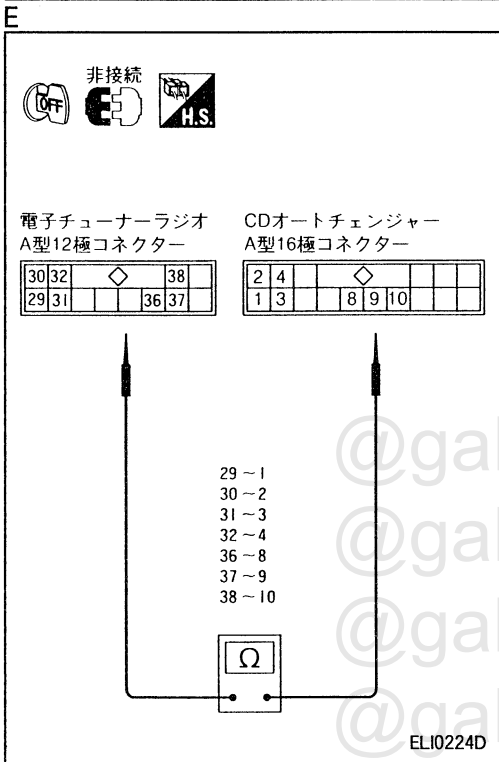
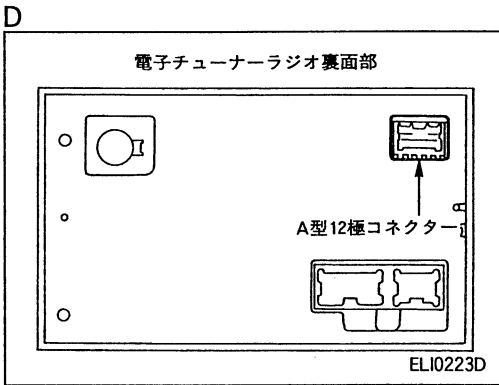
現象5 マガジン取出ボタンを押してもCDマガジンが出てこない



オーディオ故障診断

現象5 マガジン取出ボタンを押してもCDマガジンが出てこない (続き)

前ページより



D

コネクタ接続点検

- 電子チューナーラジオ側のコネクタ(A型12極)が正しく接続されているか点検する。
- CDオートチェンジャー側のコネクタ(A型16極)が正しく接続されているか点検する。

NG → コネクタを正しく接続する。

OK ↓

E

ハーネス導通点検

- 電子チューナーラジオのA型12極のコネクタを外す。
- CDオートチェンジャーのA型16極のコネクタを外す。
- 下記電子チューナーラジオの車両側コネクタ～CDオートチェンジャーの車両側コネクタ間の導通を点検する。

29 ~ 1、30 ~ 2、31 ~ 3、32 ~ 4、36 ~ 8、37 ~ 9、38 ~ 10 : 導通あり

NG → 電子チューナーラジオ～CDオートチェンジャー間ハーネス不良

OK ↓

CDオートチェンジャー修理又は交換

MEMO

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused